ROYAL ENFIELD OWNER'S MANUAL



JAPANESE

はじめに

おめでとう。 今、あなたは歴史の一部を所有しています！
それは単なるマシンではなく、過去の輝かしいカフェレーサーへのオマージュです。ロイヤルエンフィールド コンチネンタル GT 535 の進化形として、コンチネンタル GT 250 の進化形（オリジナルの英国ロイヤル エンフィールド カフェ レーサー）、Continental GT 650 Twin はその前身とまったく同じですが、より良い。
Continental GT は、堅牢で正確なエンジニアリングにより、シンプルかつパワフルに設計されています。大小を問わず、旅行や冒険の理想的なパートナーです。 真新しい 2 気筒エンジンを搭載 648cc の空冷エンジンと重厚なダブルクレードルシャシーをテクノロジーセンターで開発。
英国で最先端を行く、私たちと同じようにバイクに乗ることを楽しんでください。自分のためにやれ。このマニュアルは、オートバイの手入れに関する新しい友人、哲学者、ガイドです。 以下のページでは、車両の手入れ方法を見つけて、旅行の信頼できる味方であり続けるようにします。
今後数十年間の探査。
最寄りの認定整備工場ですべてのサービスを実施して、オートバイが あなたにふさわしい適切な治療を受けてください。 保証その他の条件もお読みください太陽の下で楽しむ前に、このマニュアルに含まれる有用な情報を確認してください。旅行を本物に保ちます。
Royal Enfield、当社の製品、その他のニュースの詳細については、www.royalenfield.com をご覧ください。

注意事項

本マニュアルの記載内容はすべて、発行時点で入手可能な最新の製品情報に基づいています。継続的な製品改良にともない、本マニュアルの記載内容とお客さまの車両の仕様が異なる場合があります。
最新の仕様や機能などについては、必ずRoyal Enfieldの正規販売店へお問い合わせください。Royal Enfieldは、予告なしにいつでも仕様や生産の変更を行う権利を留保しており、それ以前に製造・販売された車両に対して同一または同様の変更を行う義務を負いません。
シートや板金部品を分解・組み立てる際、鋭利な部分で怪我をする可能性がありますので注意してください。
掲載している画像は説明のための参考として提供しているものであり、お客様が所有されているモデルと完全に一致しない場合がございます。アクセサリーや機能は標準装備の一部ではない場合があります。技術仕様は、Royal Enfieldの単独の裁量により予告なく変更される場合があります。
「© Copyright 2023 Royal Enfield(Eicher Motors Ltd. の一部門)無断転載を禁じます。本マニュアルのいかなる部分も、Royal Enfieldからの書面による明示的な許可なく、複製、配布、またはその他の方法で利用することはできません。」

免責事項

1. 車両のマット仕上げの塗装面を磨かないでください。磨くと光沢が出てしまいます。
2. 塗装された部品は真水でのみ洗い、強力な溶剤、洗浄剤、石鹸は使用しないでください。
3. マット仕上げ部分の傷は補修・修正・除去できません。
4. 車両のマット仕上げの塗装部分には保証が適用されません。

注記

- 本車両はEuro5+規格に適合しています。

Part No. RAM01561/A / 16th October 2026

目次

安全に関する定義..... 4
個人情報および車両情報..... 5
安全運転のヒント / ガイドライン..... 6
交通ルール..... 10
アクセサリーと荷物..... 12
技術仕様..... 14
推奨潤滑剤..... 19
車両識別番号..... 20
主要部品の位置..... 21
操作方法..... 24
警告表示と安全システム..... 41
運転前点検..... 46
慣らし運転期間..... 47
始動..... 48
ギアシフト、運転、停止..... 51
駐車..... 53
ツールキット..... 54
メンテナンスのヒント..... 55
長距離走行の注意事項..... 86
リアサスペンションの設定..... 87
洗車手順..... 89
保管上の注意..... 92
トラブルシューティング..... 93
環境保護..... 95
定期メンテナンス..... 96
一般保証規約..... 102
ボーダーレス保証規約..... 108
お客様の責任 / 責任の制限..... 110
排出ガス保証..... 111
燃料蒸発ガス排出抑止装置の保証..... 116
無線設備型式認証（装備されている場合）..... 118
整備 / メンテナンス記録..... 119
配線図..... 120
注記..... 121

安全に関する定義

見出し付きの情報（警告、注意、注記）は、運転者や周囲の安全、および車両の保護のためのものです。これらは大変重要な内容ですので、必ずよくお読みください。従わない場合、ご自身や他の方が怪我をしたり、車両が損傷したりするおそれがあります。

⚠ 警告

潜在的な危険を示す表示です。無視した場合、運転者や他の方が負傷するおそれがあります。

注意

このメッセージを無視すると、車両が損傷するおそれがあります。

注記

理解を深めるために重要かつ役立つメッセージを示します。

個人情報および車両情報

名前			
番地			
市区町村			
都道府県		国	
連絡先番号	自宅：	会社：	
	携帯：	メールアドレス：	
免許証番号		有効期限：	
モデル		色：	
エンジン番号			
車台番号			
タイヤメーカー	フロント：	リア：	
タイヤ番号	フロント：	リア：	
バッテリーメーカー		バッテリー番号	
販売元			
販売日			

安全運転のヒント / ガイドライン

- 車両を運転する前に、ご自身や同乗者、そして周囲の安全のために、本マニュアルに記載されている操作およびメンテナンスに関する指示をよくお読みになり、必ずその内容に従ってください。
- 現地の道路交通法を遵守し、安全運転に努めてください。
- 車両を始動する前に、ブレーキ、クラッチ、ギアシフター、ハンドルバーコントロール、タイヤの空気圧、燃料およびオイルレベルなどが正しく作動しているか確認してください。
- 純正の Royal Enfield スペアパーツおよび承認されたアクセサリーのみを使用してください。他社製の部品を使用すると車両の性能に影響が出る可能性があり、また、車両の保証が無効になるおそれがあります。詳細については、Royal Enfield 認定サービスセンターにお問い合わせください。
- 車両に燃料を補給する時は、常に最大限の注意を払い、以下のガイドラインを厳守してください。

★ 換気の良い場所で、エンジンを止めた状態で給油してください。
★ 燃料注入口のキャップをゆっくり開けます。
★ 携帯電話やその他の携帯型電子機器の電源を OFF にします。
★ 燃料システムに給油したり整備を行ったりする際は、喫煙しないでください。また、車両の近くに火気や火花がないことを確認してください。
★ 燃料をスプラッシュガードプレートの底まで注ぎ、燃料の膨張を考慮して、燃料タンク内に十分な空間を残してください。

警告

- Royal Enfield は、アフターマーケットパーツやカスタムメイドのロングフロントフォークやサスペンションなど、性能やハンドリングに悪影響を及ぼす可能性のある、特定の非標準パーツを使用しないよう警告しています。純正部品を取り外したり改造したりすると、性能に悪影響を与え、事故につながる可能性があります。

安全運転のヒント / ガイドライン

- 新しい車両は、特別な慣らし運転期間に従って運転してください。各章に記載されている慣らし運転期間を参照してください。
- あらゆるコンディションでの車両操作と操縦特性に十分慣れるまでは、交通量の少ない場所で、適切なスピードにて運転をしてください。
- 法定速度を超えたり、現在のコンディションに対して速すぎる速度で走行しないでください。走行条件が悪い場合は必ず速度を落としてください。速度が上がると、安定性に影響を与える他の条件の影響が大きくなり、制御を失う可能性が高くなります。

注記

運転に不慣れな方は、正しい運転技術の講習を受け、所有車の操作に十分慣れることが推奨されます。特に初心者のうちは、適度な速度で走行しながら、さまざまな状況下で経験を積んでください。

路面状況や強風には十分ご注意ください。車種を問わず、以下のような要因により転倒するおそれがあります。

★ 通過する車両から来る突風。
★ 荒れた路面や凹凸の多い路面。
★ 滑りやすい路面。

これらの力は、車両の操縦特性に影響を及ぼす可能性があります。影響が出ている時は、車両の速度を制御可能な状態まで落としてください。急ブレーキをかけないでください。

- 車両を慎重に運転してください。事故の際に、車両は自動車と同等の保護性能はないことにご留意ください。よくある事故状況の 1 つが、他の車両のドライバーが車両を見落とす、または認識できずに、対向する車両の進路に入ってしまう場合です。
- 車両の運転に適した、認証されたヘルメット、ウェア、シューズを着用してください。明るい色や淡い色は、特に夜間の交通状況で視認性を高めるのに最適です。ゆったりとしたウェアやスカーフは着用しないでください。

安全運転のヒント / ガイドライン

- 同乗者を乗せる場合は、運転者が同乗者に対して適切な運転手順を指導する責任があります。
- いかなる状況においても、他の人が経験豊富で免許証を持ち、お客様の車両の運転条件を十分理解していることが確実でない限り、車両を運転させないでください。

⚠ 警告

- 定期的にショックアブソーバーとフロントフォークを点検し、漏れがないか確認してください。摩耗した部品を交換してください。摩耗した部品は、安定性とハンドリングに悪影響を及ぼす可能性があります。
- 排気ガスには、がん、先天性欠損症、生殖障害を引き起こすことが知られている有毒な一酸化炭素や化学物質が含まれています。
- お客様の安全を守るため、記載されているすべての整備およびメンテナンスの推奨事項を必ず実施してください。推奨された間隔で定期的なメンテナンスを行わないと、車両の安全性、耐久性、寿命に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 高温の時は、排気システムに触れないでください。乗車中は足を完全に覆うウェアを着用してください。排気システムは、エンジンの作動中は非常に高温になり、エンジンを止めた後でも触れられないほど熱い状態になっています。適切なライディングウェアを着用しないと、重傷を負う危険があります。
- 車両のバッテリーには、がん、先天性欠損症、その他の生殖障害を引き起こすことが知られている鉛、酸、化学物質が含まれています。バッテリーを取り扱う際は細心の注意を払い、バッテリーを取り扱うたびに手をよく洗ってください。

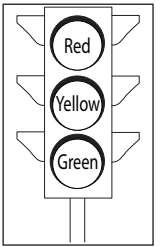
安全運転のヒント / ガイドライン

警告

- 車両の操作中に生じた質問や問題については、Royal Enfield認定サービスセンターにご相談ください。これを怠ると初期の問題を悪化させたり、高額な修理が必要になったり、ご自身の危険を招く恐れがあります。
- 車両を牽引しないでください。牽引ロープの力により、牽引されている車両の操舵性とハンドリングが損なわれます。車両を輸送する必要がある場合は、トラックまたはトレーラーを使用してください。
- 車両でトレーラーを牽引しないでください。トレーラーを牽引すると、ブレーキ効率が低下し、タイヤに過負荷がかかり、ハンドリングが不安定になる可能性があります。またこれにより、前にある車両が制御不能になり、事故につながるおそれがあります。

交通ルール

- ナンバープレートを法律で定められた位置に取り付け、常に明瞭に見えていることを確認してください。
- 走行する路面の状態に応じて安全な速度で走行してください。次のような路面を走行する際は、十分に注意してください：
  - ★ 埃っぽい
  - ★ 油が浮いている
  - ★ 凍結している
  - ★ 濡れている
  - ★ 砂が浮いている
- 車両の安定性を妨げうるおそれのある落ち葉、滑りやすい物質、砂利などが散乱している場合は注意してください。
- 対向車がいる時は、道路のセンターラインの正しい側を走行してください。
- 同じ進路方向で走行する他の車両を追い越す時は方向指示器（ウインカー）を作動させ、注意を払ってください。交差点やカーブ、または坂道を上る時や下る時には、同じ進路方向の他の車両を追い越そうとしないでください。
- 交差点では、左側または右側の車両に優先権を譲ってください。自分が優先権を持っていると思い込まないでください。
- 停止、方向転換、追い越しをする時は、お住まいの国の道路交通法を遵守してください。右折または左折する時は、歩行者、動物、および他の車両に注意してください。

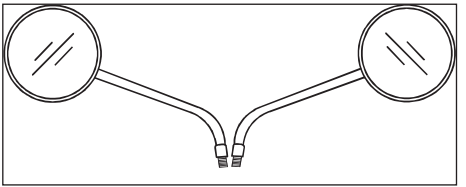


- 交差点の手動制御を含むすべての交通標識に速やかに従ってください。学校の近くの交通標識や踏切の注意標識では速度を落としてください。
- 曲がろうとする時は、曲がる地点に到達する少なくとも 100 フィート（30.5 メートル）手前で方向指示器を出してください。センターラインに寄って走行し（現地の規則で別途定められている場合を除く）、減速して慎重に曲がってください。

- 決して信号を無視しないでください。交差点で進行から停止（またはその逆）への変更が差し迫っている場合は、速度を落とし、信号が青に変わるまで待ちます。黄色または赤の信号を無視しないでください。
- 方向指示器（ウインカー）を出さずに、縁石から離れたり駐車場から出発したりしないでください。交通量の多い道路（場所）へ進入する際は、進行方向に障害物がないか必ず確認しましょう。基本的には、すでにその車線を走行している車が優先されます。
- 車両を駐車する際は、転倒を防止するため、しっかりとした平坦な場所に駐車してください。
- 車両を盗難から守りましょう。車両を駐車した後は、ステアリングヘッドがロックされていることを確認し、イグニッションキーを抜きます。

サイドビューミラー

お客様の車両には、曲面を持つ凸面ミラーが装備されています。このタイプのミラーは、通常の平面ミラーよりもはるかに広い後方視野を提供するように設計されています。ただし、このタイプのミラーで見る車両やその他の物体は、平面のミラーで見る時よりも小さく、遠くに見えます。



このミラーに映る車両や物体の大きさや距離を判断する時は注意してください。サイドミラーを緩め、調整するにはツールキットに含まれているツールを使用します。

注記

ミラーを通してご自分の車両の後ろにある車両や物体との相対的な距離を確立するには、運転姿勢を基準にして、各ミラーに運転者の肩が少し見え、大部分に映る車両の後ろがはっきりと見えるようにミラーを調整します。

アクセサリーと荷物

Royal Enfield では、車両仕様に合わせた厳格なテストと認証を経た、高品質な純正アクセサリーを幅広くご用意しています。

したがって、アクセサリーを取り付けたり、追加の重量物を運ぶ場合、運転者は車両の安全な操作に責任を持たなければなりません。

同乗者を載せたり荷物を積載したりする場合、またはアクセサリーを取り付ける場合は、以下のガイドラインに従ってください。

- 単独走行時、同乗者を乗せている時、またはアクセサリーを装備した車両に荷物を積載している時は、110 km/h (70 mph) を超えないようにしてください。
- 荷物の重量を車両の近く、できるだけ低い所に集中させてください。これにより、車両の重心の急激な変化が最小限に抑えられます。
- 重量は、車両の両側に均等に分散させてください。
- 運転者の後ろにかさばる荷物を積んだり、ハンドルバーやフロントフォークに重量を加えたりしないでください。
- 定期的に荷物を再確認し、荷物がしっかりと固定されていて走行中に動かないことを確認してください。アクセサリーが緩く取り付けられていると、車両の走行状態、車両のハンドリングや安定性に影響を及ぼす可能性があります。
- フェアリング、フロントガラス、背もたれ、荷物ラックなどの大きな表面は、車両のハンドリングに悪影響を及ぼす可能性があります。該当モデル固有の Royal Enfield 純正車両アクセサリーを使用し、取付手順に従ってください。

警告

- 運転者、同乗者、アクセサリー、荷物の合計重量が、技術仕様に記載されている車両総重量を超えないようにしてください。
- 車両に不適切なやり方で重量物を積んだり、アクセサリーを取り付けないでください。
- これを行うと、車両の安定性、ハンドリング特性、安全な操作に影響を及ぼして事故を引き起こし、重大な傷害や死亡につながるおそれがあります。

アクセサリーと荷物

⚠ 警告

- Royal Enfield では、車両仕様に合わせた厳格なテストと認証を経た、高品質な純正アクセサリーを幅広くご用意しています。
- Royal Enfield は、車両の性能やハンドリングに悪影響を及ぼす可能性のあるアフターマーケットパーツや特注のロングフロントフォークなど、非標準パーツを使用することは控えるよう警告しています。純正部品を取り外したり改造したりすると、車両の性能に悪影響を与え、事故を引き起こし、重大な傷害や死亡につながる可能性があります。
- モデル / 設計仕様を無視しないでください。無視すると、車両とアクセサリーの両方を誤用することになり、車両のハンドリングと性能に悪影響を与えて事故を引き起こし、重大な傷害や死亡につながる可能性があります。

技術仕様

エンジン

エンジンタイプ.....	並列2気筒、4ストローク、SOHC
ボア.....	78 mm
ストローク.....	67.8 mm
エンジン排気量.....	647.95 cc
圧縮比.....	9.5:1
最高出力.....	34.9 kW @ 7150 rpm
最大トルク.....	52.3 Nm @ 5150 rpm
アイドリング時回転数...	1200 ± 100 rpm
始動方式.....	セルスタート
エアフィルターエレメント...	ペーパーエレメント
潤滑方式.....	ウェットサンプ
ギアボックス.....	6速コンスタントメッシュ
燃料供給.....	燃料噴射
冷却方式.....	空冷

点火システム

点火装置.....	デジタルスパークイグニッション
点火進角.....	11.25° BTDC
スパークプラグ.....	BOSCH UR5CC
スパークプラグギャップ...	0.7 mm ～ 0.8 mm

技術仕様

トランスミッション

クラッチ.....	湿式多板
プライマリドライブ....	ギア
1次減速比	2.051:1
ギアボックス.....	6速､コンスタントメッシュ
ギア比.....	1速 2.615:1
	2速 1.813:1
	3速 1.429:1
	4速 1.190:1
	5速 1.040:1
	6速 0.962:1
セカンダリドライブ....	スプロケットおよびチェーン (5/8 ピッチ)
2次減速比	2.533:1

シャシー

フレーム.....	スチールチューブラー、ダブルクレードルフレーム

サスペンション

フロント.....	41 mm フロントフォーク、110 mm トラベル
リア.....	シングルコイルオーバーショック、88 mm トラベル

ブレーキ

ブレーキシステム...	デュアルチャンネル ABS
フロント.....	320 mm ディスク、ABS
リア.....	240 mm ディスク、ABS

ホイールの種類	1名乗車	2名乗車
フロント	32 psi	32 psi
リア	36 psi	39 psi

技術仕様

ホイールの種類	タイヤサイズ
フロントタイヤ	100/90-18 M/C 56H CEAT ZOOM CRUZ F
	100/90-18 M/C 56 H VREDESTEIN CENTURA ST
	100/90-18 M/C 56H PIRELLI PHANTOM SPORTS
リアタイヤ	130/70-18 M/C 63H CEAT ZOOM CRUZ
	130/70-R18 M/C 63V VREDESTEIN CENTURA ST
	130/70-18 M/C 63H PIRELLI PHANTOM SPORTS

注記

- チューブタイプのリムには、チューブ付きのタイヤを取り付けます。
- チューブレスタイプのリムには、チューブレスタイプのタイヤのみを使用してください。

ステアリングロック ..... コンビネーションロック
燃料タイプ..... 無鉛ハイオクガソリン
エタノール含有量..... E10 以下
燃料供給方式..... フューエルインジェクション
燃料タンク容量..... 12.5* L
燃料残量警告..... 3.1* L
予備燃料量..... 1.5* L

* 上記の値は概算であり、実際の容量は燃料タンクごとに異なります。

免責事項

- チューブレスタイヤを装備したモデルには、インナーチューブが付属しています。
- スポークホイールにインナーチューブを使わないと、タイヤの空気が抜け、車両を制御できなくなります。
- 「チューブレス」とマークされている認定タイヤには、インナーチューブを使用することが適しています。
- 「チューブレス」とマークされている認定タイヤの場合、合金製ホイールにはインナーチューブを使用しないことが適しています。

技術仕様

電気系統

システム..... 12V - DC
発電..... オルタネーター
オルタネーター出力... 156 W @ 1100 rpm
バッテリー..... 12 V - 12 Ah VRLA
ヘッドランプ..... FPL 1.55 W LED、ロービーム 12.1 W、ハイビーム + ロービーム 14.2 W、ロービーム + ハイビーム + FPL 15.7 W
ブレーキ/テールランプ... 12 V、P21/5 W (ハロゲン)
方向指示器(ウインカー).. 12 V、10 W
インストルメントクラスター.. デジタルインストゥルメントクラスター LCD 付き
ホーン..... 12 V/2.5 A(デュアルトーン)
スターターモーター.. 12 V、0.8 kW
充電ポート..... USB 2.0 - 5 V 2 A 出力

警告

- 指定された定格以外の電球 / 電気機器を使用すると、電気システムの過負荷 / 不安定な動作 / 早期故障につながります。
- Royal Enfield によって承認されていない改造または取り付けは、車両の性能に深刻な影響を与え、保証の対象外となります。

寸法

キャスター角..... 24 度
フロントホイールリムサイズ (合金製およびスポークホイール)..... 18 M/C x MT 2.50
リアホイールリムサイズ (合金製およびスポークホイール)..... 18 M/C x MT 3.50
全長..... 2119 mm

技術仕様

全幅..... 780 mm
全高..... 1067 mm
ホイールベース..... 1398 mm
地上高..... 174 mm

重量

車両重量（燃料とオイルが 90%).... 212 kg
車両総重量..... 400 kg

注記

- 上記の値 / 寸法は参考としてのみご利用ください。
- 当社では常に製品の改良を行っているため、仕様を予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

推奨潤滑剤

エンジンオイル			フロントフォークオイル	ブレーキフルード
グレード	10W-50、API SL（またはそれ以上）、JASO MA2（例：ELF MOTO4 TECH 10W 50（全合成油））		2W 25 HPCL	DOT4*
容量	初回ドライフィル：3.9 L	定期オイル交換：3.1 L	473 ml / フォーク	フロント：50 ml リア　　：100 ml

注意

不適切なオイルグレードを使用すると、可動部品の寿命が短くなり、性能に重大な影響を及ぼします。

* DOT4 と他のブレーキフルードを混ぜないでください。

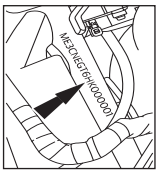
注記

1. 推奨事項は予告なく変更される場合があります。
2. 上記の値は概算であり、実際の容量は異なる場合があります。

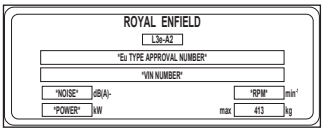
車両識別番号

車台番号

右サイドのステアリングヘッドチューブに刻印されています。

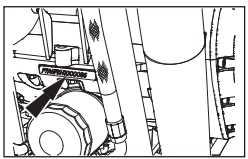


VIN 情報プレート



エンジン番号

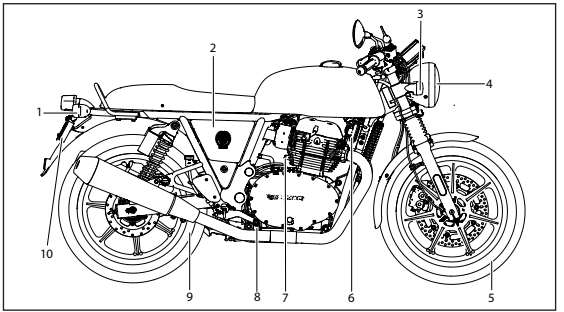
エンジン番号は左サイドのクランクケースに刻印されています。これは、エンジンおよびその製造情報を識別するための手段です。エンジン番号を改ざんしないでください。法律で禁止されています。



注意

車両の車体番号（VIN）/ エンジン番号を改ざんしたり変更したりすると、違法になるだけでなく、車両登録と保証が無効になります。

主要部品の位置

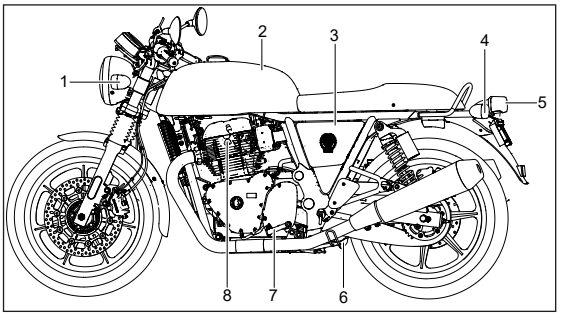


1. 右リア方向指示器（ウインカー）
2. 右サイドパネル
3. 右フロント方向指示器（ウインカー）
4. ヘッドランプ
5. フロントホイール＊
6. ホーン
7. スターターモーター
8. リアブレーキペダル
9. リアホイール＊
10. ライセンスプレート照明

免責事項

上部に表示されている部品はイメージ（参考）です。車両コンフィギュレーターで実際に選択された部品とは異なる場合がございます。

主要部品の位置

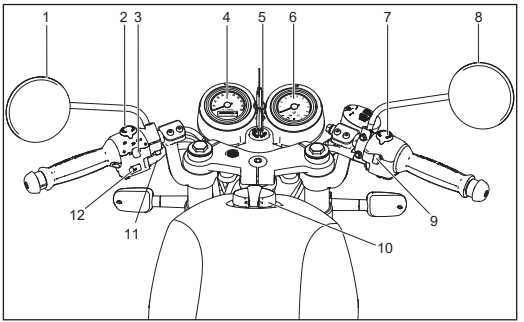


1. 左フロント方向指示器（ウインカー）
2. 燃料タンク
3. 左サイドパネル / バッテリーカバー
4. 左リア方向指示器（ウインカー）
5. テールランプ
6. サイドスタンド
7. ギアチェンジペダル
8. スパークプラグ

注記

センタースタンドは、Continental GT 650 モデルの標準装備ではありません。

主要部品の位置



1. 左サイドミラー
2. ハイ / ロービーム / パッシングスイッチ
3. 方向指示器（ウインカー）スイッチ
4. スピードメーター
5. イグニッションキー
6. タコメーター
7. イグニッション / エンジンキルスイッチ
8. 右サイドミラー
9. ハザードライトスイッチ
10. 燃料タンクキャップ
11. USB 充電ポート
12. ホーンボタン

注記

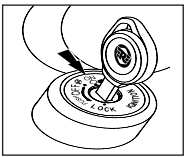
トリッパーは、Continental GT 650 モデルの標準装備ではありません。

操作方法

イグニッションスイッチ

「OFF」

「ON」



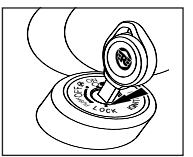
注記

- キーは、イグニッション、燃料タンクロック、ステアリングロック、右サイドパネルで共通です。
- キーは、キースロットでロック位置にある場合にのみ、燃料タンクと右サイドパネルから抜くことができます。
- キーはイグニッションが OFF か、ステアリングがロックされている時にのみ抜くことができます。

警告

- 車両の運転中はイグニッションスイッチを OFF にしないでください。
- このような行為は、運転者および他の道路利用者に重傷を負わせる事故を引き起こすおそれがあるほか、車両自体にも深刻な損傷を与える原因となります。

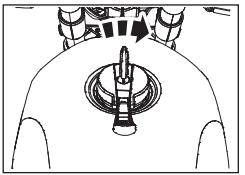
ステアリングロック



- ハンドルバーを左いっぱいまで切ります。
- キーを「OFF」の位置で押し込み、さらに反時計回りに回してステアリングシステムをロックし、キーを抜きます。
- ステアリングロックを解除するには、キーを時計回りに回してください。

操作方法

燃料タンクキャップ



- 燃料タンクキャップのキーフラップを持ち上げてキーを挿入します。
- キーを時計回りに回して開きます。
- キーを所定の位置に置いた状態でキャップを押してロックします。
- キャップからキーを抜いて、フラップを閉じます。

警告

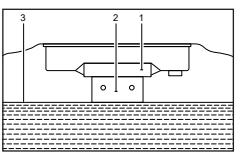
- 燃料タンクに燃料を入れすぎないでください。
- 燃料はスプラッシュガードプレートの底以上に入れないでください。
- 燃料を過剰に補給すると、燃料が EVAP キャニスターに入り、蒸発ガス排出システムが損傷するおそれがあります。

注意

- ガソリン蒸気は非常に爆発性が高いため、燃料補給の際は近くに火気や火花がないことを確かめ、必ず換気の良い場所で給油してください。
- 塗装面にガソリンがこぼれないように注意してください。燃料が塗装面にこぼれると、シミになり、取れなくなる可能性があるので、直ちに拭き取ってください。
- 燃料補給中や燃料タンクのキャップが開いている時は喫煙しないでください。

燃料充填レベル

1. 燃料注入口カラー
2. スプラッシュガードプレート
3. 最大フューエルレベル

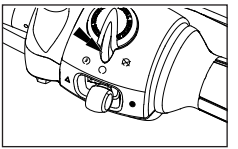


操作方法

イグニッション / エンジンキルスイッチ

エンジン「OFF」

エンジン「ON」

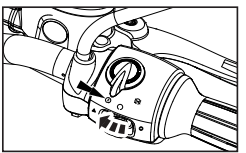


注意

■ エンジンが作動していないときは、イグニッションスイッチを OFF にしてください。これを怠ると、ヘッドランプが常時「ON」になり、バッテリーが放電します。

スタータースイッチ

エンジンが始動するまで、スタータースイッチを最大 5 秒間長押しします。



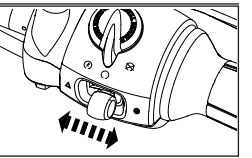
注意

■ 車両を長時間停止する場合は、バッテリーの放電を防ぐため、イグニッションキーをオフにしてください。

ハザードライトスイッチ

ハザードライト「ON」

「OFF」



注意

■ ハザードライトの点滅はバッテリーに負担をかけます。ハザード警告は、必要ない限り、長時間使用しないでください。

ハザードライトを作動させる方法：

■ イグニッションスイッチを ON にし、ハザードライトスイッチを ON の位置にスライドします。手動で無効（OFF）にしない限り、ハザードライトが点滅します。

操作方法

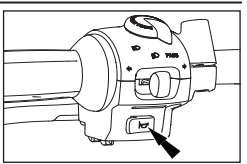
- イグニッションスイッチをONにし、ハザードライトスイッチをONの位置にスライドします。ハザードライトが点滅を開始します。イグニッションスイッチをOFFにします。手動で無効（OFF）にしない限り、ハザードライトは30分間、点滅し続けます。
- ハザードライトは、イグニッションスイッチがOFF状態でないと作動しません。

警告

- ハザードライトスイッチが「ON」の時は、方向指示器（ウインカー）は作動しません。
- すべての方向指示器(ウインカー)が同時に点滅します。

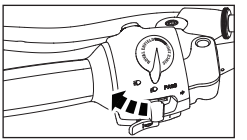
ホーン

ホーンボタンを押すと、ホーンが鳴ります。



ハイビーム / ロービームスイッチ

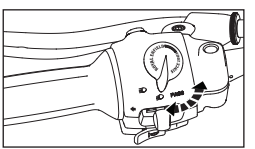
- ヘッドランプが「ON」の状態で、スイッチを切り替えることでハイビーム / ロービームを選択します。ハイビームを選択すると、インストルメントクラスターにあるハイビームインジケーターランプが点灯します。



ハイビーム　　ロービーム

パッシングスイッチ

パッシングスイッチのスイッチを押します。



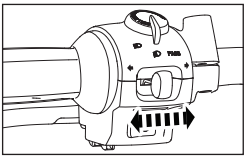
操作方法

方向指示器（ウインカー）スイッチ

⇦ 左方向指示器（ウインカー）「ON」

⇧ 「OFF」(押すとキャンセル)

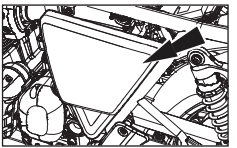
⇨ 右方向指示器（ウインカー）「ON」



必要に応じて、方向転換する前にボタンを「OFF」位置から左または右に押します。方向指示器（ウインカー）を消すには、センター位置に戻した後にスイッチを押します。

左サイドパネル

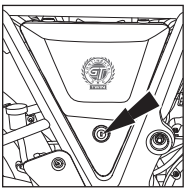
■ 左サイドパネルを外すには、シートと留めネジを取り外し、サイドパネルを引いてロケーターから外し、サイドパネルをゆっくりと取り外します。



右サイドパネル

■ キーを時計回りに回してサイドパネルのロックを解除します。

■ サイドパネルをキーと共に引き、サイドパネルをゆっくりと取り外します。

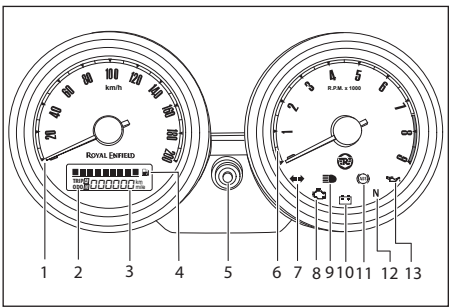


操作方法

インストルメントクラスター

このインストルメントクラスターは、以下で構成されています。

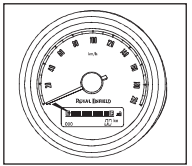
1. スピードメーター
2. オドメーター
3. トリップメーターAおよびB
4. フューエルレベルインジケーター
5. セレクターボタン
6. タコメーター
7. 方向指示器(ウインカー)インジケーター
8. エンジンチェックランプ
9. ハイビームインジケーター
10. バッテリー低電圧インジケーター
11. ABSインジケーター
12. ニュートラルインジケーター
13. 低油圧インジケーター



操作方法

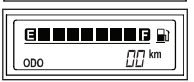
スピードメーター

スピードメーターは車両が走行する速度を示し、km と mph の両方の目盛に対応しています。



オドメーター

オドメーターのデフォルト表示は、車両の総走行距離 (km/mph) です。



注記

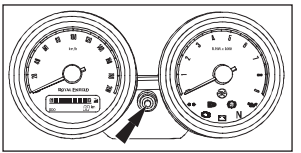
イグニッションを「ON」にすると、最後に選択したモードが表示されます。

⚠ 警告

オドメーター表示を改ざんすることや、車両の総走行距離 (km) をリセットすることは違法です。車両の速度センサーを外して車両を運転することは違法です。

セレクターボタン

セレクターノブで、オドメーター、Trip A、Trip B を選択できます。



トリップメーター A および B

セレクターボタンスイッチを 1 秒未満、軽く押すと、表示がオドメーターから Trip A へ切り替わります。セレクターボタンスイッチをもう一度押すと、表示が Trip A から Trip B へ切り替わります。

注記

- その時のモードに合わせて、表示を Trip A または Trip B に設定してください。
- セレクターボタンを 3 秒以上押してください。
- 自動的に表示がゼロになります。

単位の切り替え

- ギアをニュートラルモードに変更し、イグニッションスイッチを OFF にします。
- INFO ボタンを押しながらイグニッションスイッチを ON にします。
- イグニッションスイッチが ON の状態で、INFO ボタンを約 15 秒間長押しします。
- ODO の表示単位が miles から km に、またその逆に変わります。

注記

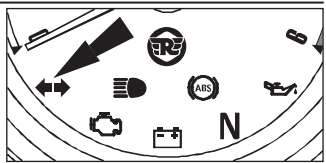
Trip A/Trip B - トリップメーターが 999.9 km、オドメーターが 99999.9 km になると、通知なしに自動的にゼロにリセットされます。

⚠ 警告

車両を運転中に、設定を変更しようとしないでください。制御不能になり、事故につながるおそれがあります。

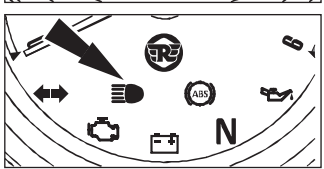
方向指示器（ウインカー）インジケーター

左右いずれかインジケーターが「ON」であることを示します。

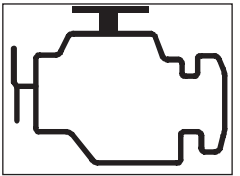


ハイビーム インジケーター

ハイビームヘッドランプが「ON」であることを示します。

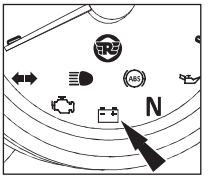


エンジンチェックランプ



- エンジンチェックランプ(MIL) はタコメーターに付いています。
- イグニッションスイッチとエンジンキルスイッチの両方が「ON」の位置にあり、車両を始動すると、MIL が数秒間点灯してから「OFF」に変わります。これは、電子燃料噴射 (EFI) システムのすべての機能が正常に動作していることを示します。EFI システムに何らかの不具合が発生した場合、MIL が点灯し続けます。
- EFI システムの詳細な点検と修正には、最寄りの Royal Enfield 認定サービスセンターに車両を持ち込むことをお勧めします。

バッテリー低電圧インジケーター



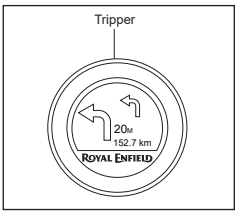
- イグニッションスイッチが「ON」になると、低電圧インジケーターシンボルが点灯します。エンジンが始動すると、バッテリー低電圧インジケーターは自動的に「OFF」になります。
- エンジン始動時にバッテリー電圧が 12 ボルトを下回っており、バッテリーが充電されていない場合、バッテリー低電圧インジケーターがインストルメントクラスター内で点灯し続けます。

注意

- バッテリー低電圧インジケーターが継続して点灯している場合は車両を走行させず、直ちに Royal Enfield 認定サービスセンターで充電システムの点検を受けてください。

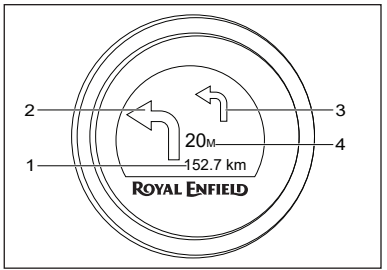
操作方法（装備されている場合）

トリッパー



- トリッパーは、車両にターンバイターンナビゲーションを装備することにより、運転者がスマートフォンを操作することなく、手間をかけずに走行できるよう、提供されています。このデバイスは、Google マップにサポートされている RE モバイルアプリに基づくナビゲーション検索を備え、Bluetooth 接続で動作します。
- このデバイスは、運転しやすいように直感的にデザインされたユニークな矢印フォントを使用していて、カスタムデザインされた丸型カラー TFT でターンバイターンナビゲーションを表示できます。
- 背景表示は、運転者が RE モバイルアプリから選択して、昼モードと夜モードを切り替えることができます。
- QR コードをスキャンしてダウンロード、インストール、登録し、トリッパーの詳細を確認してください。

操作方法（装備されている場合）



1. 目的地までの距離または ETA
2. 第 1 の進行方向または次の曲がり角
3. 第 2 の進行方向または次の次の曲がり角
4. 次の曲がり角までの距離

特徴：

- 最初の曲がり角、次の曲がり角を表示するターンバイターンナビゲーション。
- 次の曲がり角までの距離、目的地までの距離、または到着予定時刻（ETA）。
- 時計の表示（接続がない場合、ナビゲーション入力がない場合、または目的地に到着した後）。
- ユーザーは昼モードと夜モードを選択できます（RE モバイルアプリ経由でのみ）。
- 携帯電話のバッテリー残量低下表示。

免責事項：

- 太陽の位置によっては、ディスプレイに直射日光が当たることで画面が暗く見えることがありますが、故障ではありません。画面が見えづらい場合は、周囲の安全や走行状況に注意して運転してください。

操作方法（装備されている場合）

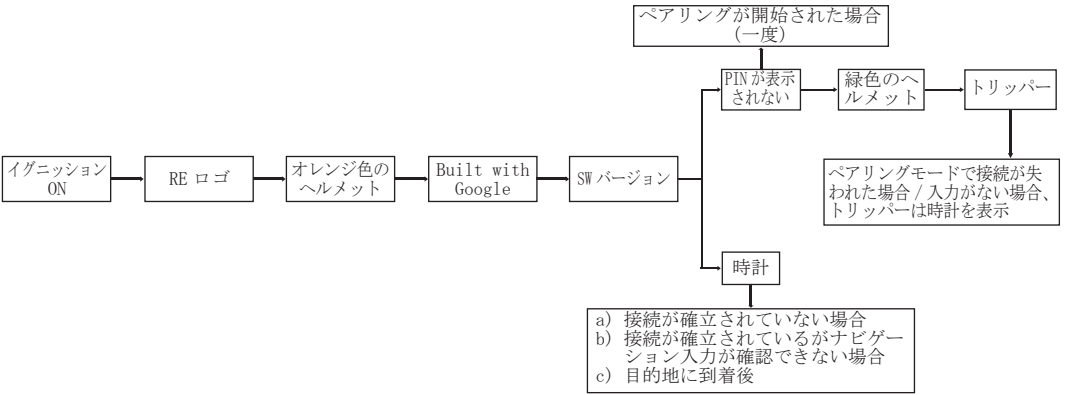
- 第 1 の進行方向または次の曲がり角。距離とともに次の曲がり角を示します。
- 次の曲がり角までの距離：次の曲がり角までの距離を表示します。
- 第 2 の進行方向または次の次の曲がり角：第 1 の進行方向の後に取る、次の曲がり角を示します。第 1 の曲がり角が 100 m 未満にある場合にのみ表示され、曲がり角がない場合、このエリアには何も表示されません。
- 目的地までの距離または ETA：目的地までの総距離または到着予定時刻（RE モバイルアプリで選択した内容に基づく）を表示します。

RE モバイルアプリをご利用いただけるスマートフォン対応バージョン：

- Android および iOS と互換性があります。
- Android サポート：現在のバージョン（-2）。
- iOS サポート：現在のバージョン（-1）。
- 接続コントロールは RE モバイルアプリを通じてのみ行われます。

操作方法（装備されている場合）

トリッパー 表示フローシーケンス



注記

- イグニッションを「ON」サイクルにするたびに、トリッパーは 120 秒間検出可能モードになります。
- 120 秒以内に接続が確立されない場合、ディスプレイは時計モードに入ります。イグニッションの「OFF-ON」サイクルを繰り返して接続を再開します。
- ナビゲーションモード中にスマートフォンからの入力が 5 秒間ない場合、電力を消費しないよう Bluetooth 接続が終了し、時計が表示されます。
- Bluetooth 接続は、エンドユーザーがモバイルアプリケーションを閉じることによっても終了できます。
- 初めてペアリングする場合、ユーザーは RE モバイルアプリを通じて、トリッパーに表示されるセキュリティ保護された PIN を入力してデバイスをセットアップしてください。その後は、同じデバイスが接続されると自動的にペアリングが行われます。
- トリッパーがペアリングされるたびに、時計の時刻は携帯電話の時刻と同期され、その後接続が切断された場合でも内部時計で動作し続けます。インストルメントクラスターとトリッパーに表示される時刻には時間差があります。お客様は、クラスターのプッシュボタン管理で通知を受けた時に、その通知に従って、トリッパーに表示される時刻に合わせてクラスターの時計を更新してください。
- インストルメントクラスターまたはトリッパーの清掃や拭き取りにガソリン / 石油関連の液体を塗布したり使用したりしないでください。永久的な損傷を引き起こす可能性があります。

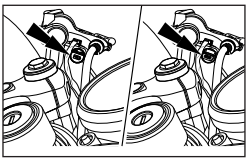
操作方法（装備されている場合）

注意

- 接続を確立している間は、イグニッションがONであり、ディスプレイに電源が入っていることを確認してください。
- クロス接続を回避するために、初回ペアリングは隔離された環境で行われるようにしてください（1回）。
- 昼夜モードはユーザーのみが選択可能ですが、運転者が注意散漫になるのを避けるため、夜間運転中に自動的に切り替わることはありません。
- Bluetooth接続はREモバイルアプリを通じてのみ確立できます。
- 使用する前に、Bluetoothと位置情報の設定が常にONになっていることを確認してください。
- ナビゲーションが低バッテリーモードで動作するように、スマートフォンのバッテリー最適化設定/低バッテリーカットオフ設定を無効にします。
- REモバイルアプリはAndroid（現在のバージョン(-2)）およびiOS（現在のバージョン(-1)）バージョンでのみ動作します。その他の下位バージョンではパフォーマンスのラグが予想されます。
- トリッパーのBluetoothはV4.2です。Bluetooth接続が失われると、トリッパーの時間表示がモバイルデバイスに表示される実際の時間と一致しなくなる場合があります。
- REモバイルアプリはBluetooth V4.2およびN+1.0で動作します。その他の下位バージョンではパフォーマンスのラグが予想されます。
- ナビゲーションのラグが発生した場合は、ネットワーク信号強度を確認してください。
- ナビゲーションのラグが発生した場合はデータ速度を確認してください。ナビゲーションシステムのパフォーマンスは、他の下位バージョンと比較して、4G帯域で優れています。
- GPS精度と位置情報の精度に影響するため、携帯電話を頻繁に校正してください。

充電ポート

- 充電ポートは、左側ハンドルバーのクラッチレバーの下にあります。



警告

- スマートフォンや充電器の損傷を避けるため、雨天時に使用しないことをお勧めします。REはスマートフォンの損傷について一切責任を負いません。
- 携帯電話以外のデバイスを使用しないでください。一度に充電できる携帯電話は1台のみです。
- USBケーブルが正しく挿入されていることを確認してください。ケーブルを無理に挿入したり、誤って挿入したことによる損傷は保証の対象外となります。
- 使用していない時は、ショートを防ぐため、USBポートキャップを半開きまたは半閉じのままにしないでください。
- ショートの原因となる可能性があるので、USB充電ポート内に金属や導電性物質を挿入しないでください。

注記

- 充電ポートは充電目的でのみ提供されており、データ転送はできません。
- 一定充電モードのみが提供されており、複数のメーカーの携帯電話と互換性のある急速 / ダッシュ充電はありません。また、純正スマートフォン充電器の性能と同等ではありません。
- スマートフォンのバッテリー容量、充電状態、スマートフォンの充電回路によっては充電時間は長くなる可能性があり、携帯電話のメーカーによって充電時間が異なります。

注意

- お客様は、使用していない時はUSBポートキャップが適切に閉じられ、ロックされていることを確認してください。ポートキャップが破損していて適切に密閉されていない場合、保証は提供されません。
- 2.5 Aを超える高電流が流れると、USB充電器は充電が停止します。ご使用前にスマートフォンのバッテリー電流定格をご確認ください。
- USB充電器はエンジンが作動している状態でのみ機能します。
- 正常に機能させるには、標準認可された高品質のUSBケーブルを使用してください。

警告表示と安全システム

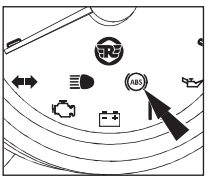
車両には、以下の警告表示と安全システムが装備されています。

フューエルレベルインジケーター



- フューエルレベルインジケーターは、燃料タンクのフューエルレベルを示します。
- フューエルレベルが満タンレベル（F）から減少すると、燃料メーターの表示バーが空（E）の方向に向かって徐々に消灯していきます。
- 燃料が3.1 Lを下回ると、インストルメントクラスター内にあるフューエルレベル表示の最後のバーが点滅し続けます。
- 燃料残量インジケーターが点滅し続けている状態で車両を運転しないでください。車両の燃料が切れる恐れがあるだけでなく、燃料ポンプに深刻な損傷を与える原因となります。燃料残量インジケーターが点滅し始めたら、直ちに給油してください。

アンチロックブレーキシステム（ABS）



- アンチロックブレーキシステム（ABS）は、高速走行時や低摩擦路面で急ブレーキをかけた際に、ブレーキが車輪のロックを防ぐのに役立ちます。これにより、運転者は車両のトラクションと操作性を向上させることができ、スリップによる事故の発生を防ぐことができます。
- 運転者がブレーキを突然強くかけた際、ブレーキシステム内のセンサーがABSモジュレーターに信号を送り、油圧を瞬間的に連続的に下げることでブレーキが車輪をロックするのを防ぎ、車両の速度を低下させます。これが、運転者が車両を制御するのを助けます。

- ABS に何らかの不具合が発生した場合に運転者に警告するために、クラスター内には ABS インジケーターランプが設けられています(横の画像を参照)。
- イグニッションスイッチとエンジンキルスイッチを「ON」にすると、ABS ランプが点灯し、車両が時速 5km に達するまで点灯したままとなり、その後消灯します。これは ABS が正常に機能していることを示します。
- ABS インジケーターランプが高速走行時にも「OFF」にならず、常に「ON」のままである場合は、ABS 付きの車両を運転しないようにしてください。最寄りの Royal Enfield 認定サービスセンターでブレーキシステムを点検し、修理してください。これを怠ると、重大な怪我や死亡につながるおそれがあります。

注意 (ABS)

- ABS は、慌ててブレーキをかけた際に車輪がロックするのを防ぐ安全機能です。これは決して、適切な運転方法や早めのブレーキ操作の代わりになるものではありません。
- 特にコーナーリング中は慎重に運転し、ブレーキを慎重にかけてください。ABS は、コーナーを曲がる時の車両の「重量移動」と運動量を予測することができないため、トラクションの損失によるスリップを防ぐことができません。
- 走行速度に応じた停止距離を予測し、余裕を持ってブレーキをかけ、車両を安全に停止させてください。
- インストルメントクラスターは ABS システムに不可欠なパーツであるため、適切に機能していることを確認してください。
- 車両のトラクションと制御性が良い状態で停止させるために、両方のブレーキを同時にかけてください。
- 上記を守らない場合、重大な傷害や死亡につながる事故が発生する可能性があります。

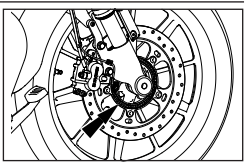
警告

- ABS の正しい作動を確保するため、必ず Royal Enfield が認定したフロント / リアタイヤとリアスプロケットを使用してください。

⚠ 警告

- サスペンションのストローク量を変更しないでください。
- ブレーキシステムには、Royal Enfield が認定した推奨スペアパーツのみを使用してください。
- ABS は制動距離を短くするものではありません。特定の状況では、ABS により停止距離が長くなる可能性があります。

注意 (ABS)



- フロントおよびリアの ABS トーンリングの歯が破損していないか目視で点検します。
- 歯の表面に破損やへこみがないか点検します。
- 歯のエッジの外観は一貫している必要があります。トーンリングが破損または曲がっている場合は、最寄りの販売店に問い合わせて必要な措置を講じることをお勧めします。
- ホイール速度センサー（フロントおよびリア）の先端にゴミがないか点検し、汚れが見られる場合は適切に除去することをお勧めします。または、必要な措置のために最寄りの販売店にお問い合わせください。

ロールオーバーセンサー

エンジンが作動し、ギアが入った状態で車両が左右いずれかに倒れた場合、ロールオーバーセンサーが燃料システムを「無効化」し、エンジンを「OFF」にします。これは、車両の損傷と運転者の怪我を防ぐためです。ロールオーバーセンサーをリセットし、燃料システムを再起動するには

- 車両が垂直で、センタースタンドに立っていることを確認します。
- ギアが正しくニュートラルになっており、インストルメントコンソールのニュートラルランプが点灯していることを確認します。
- イグニッションとストップスイッチの両方を OFF にし、数秒待ってからイグニッションとストップスイッチを再び ON にして、エンジンを始動します。

注意点：(ABS)

すべきこと	してはならないこと
■ エンジンを始動すると ABS インジケーターが「ON」になり点灯し、車速が 5 km/h を超えると「OFF」になることを確認してください。	■ 緊急時にブレーキを強く踏み込んで脈動を感じた時は、ブレーキレバー / ペダルを放さないでください。脈動は ABS の作動により起こるものです。
■ フロントおよびリアブレーキリザーバー内のブレーキフルードレベルを点検し、ブレーキシステムに漏れがないことを確認してください。	
■ 効率をよくするために、両方のブレーキを同時にかけます。	■ フロントブレーキまたはリアブレーキのみを使用するとブレーキの効率が悪くなる可能性があるため、フロントブレーキまたはリアブレーキのみを使用しないでください。
■ ABS インジケーターが継続して「ON」のままである場合は、最寄りの Royal Enfield 認定サービスセンターに車両を持ち込み、ブレーキシステムを点検してください。	

警告表示と安全システム

ニュートラルインジケーター

■ 車両がニュートラル位置にある場合、このインジケーターが点灯します。

低油圧インジケーター

■ 油圧が低すぎる場合、このインジケーターが点灯します。イグニッションスイッチが「ON」の位置にあり、エンジンが作動状況にない場合、エンジンオイル圧が十分に高い / 通常の状態にある時はインジケーターがオフになります。

注意 (ABS)

■ インジケーターが点灯し続けており、エンジン回転数がアイドリング以上の場合、直ちに車両を停止し、Royal Enfield 認定サービスセンターでエンジンを点検し、修理してください。これを怠ると、エンジンの損傷につながるおそれがあります。

タコメーター

■ これは、エンジン回転数を rpm で示します。

運転前点検

乗車前、特に長期間車両を保管した後は、追加のメンテナンスが必要かどうかを判断するために、以下の点を慎重にチェックしてください。

1. 計画されている旅程に十分な燃料がタンク内にある。
2. タイヤの空気圧が適切か、タイヤの摩耗、亀裂がないか確認してください。
3. リアチェーンの遊びが適切で注油が十分であるか、確認してください。
4. ブレーキ、クラッチ、ステアリング、スロットルの応答が適切であるか。
5. フロントとリアのブレーキレバーの操作がスムーズで、遊びがある。
6. エンジンオイルの適正量。
7. ホイールスポークの締まり具合が適切か、損傷がないか（スポークホイールモデルに適用）。
8. ヘッドランプ、テールランプ、ブレーキランプ、インジケーターランプが正常に機能している。
9. インストルメントクラスターのすべての警告ランプが正常に機能している。
10. ブレーキフルードのレベルがマスターシリンダーの「MIN」マークを超えている。
11. クラッチの遊びとクラッチの機能を確認。

警告

- ご自身の安全と安心のために、上記の各項目は定期的に実行してください。これを怠ると安全な操作が妨げられ、車両が損傷し、重大な傷害や死亡事故につながる可能性があります。

慣らし運転期間

Royal Enfield の車両は、ご体感いただいているとおり、安定した高速走行が可能です。しかし、他の新しい車両と同様に、車両のさまざまな可動部品を適切に「馴染ませる」ために、そして最適なパフォーマンスを実現するために、「慣らし運転期間」の手順が不可欠です。

1. 指定された最大積載荷重を超えないでください。
2. 車両を走らせる前に、エンジンオイルがエンジン内のすべての可動部品に注油できるように、アイドリング回転で数分間エンジンを暖めてください。
3. フルスロットル操作を避け、連続して一定のスロットルで走行しないでください。走行中は、速度を 10%ほど変化させるようにしてください。
4. 適切な速度で走行し、急加速や急ブレーキは避けてください。
5. 1時間以上連続して車両に乗ることは避け、短時間の休憩を取ることをお勧めします。

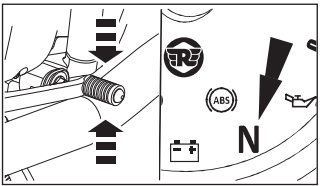
注記

以下の表は、エンジンの最適なパフォーマンスを実現するために推奨されるエンジン回転数を rpm で示しています。

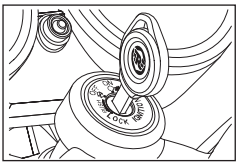
走行距離	最高エンジン回転数
0 ～ 500 km (0 ～ 311 miles)	4000 rpm
501 ～ 2,000 km (311 ～ 1243 miles)	6000 rpm

始動

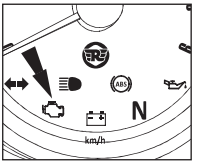
■ ニュートラルに入れるには、ギアをシフトしながら車両をゆっくりと前後に動かします。ギアがニュートラル位置にあり、インストルメントクラスター内のニュートラルランプが点灯していることを確認します。



■ イグニッションキーを「ON」位置に回し、右手のサイドハンドルバーにあるエンジンキルスイッチを走行位置に回します。

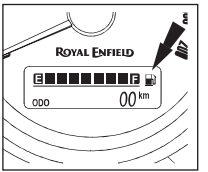


■ イグニッションスイッチとエンジンキルスイッチの両方が「ON」の位置にあり、車両を始動すると、MIL が数秒間点灯してから「OFF」に変わります。これは、電子燃料噴射（EFI）システムのすべての機能が正常に動作していることを示します。EFI システムに何らかの不具合が発生した場合、MIL が点灯し続けます。

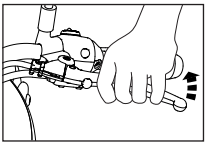


注意

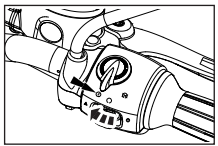
■ 故障インジケーターが「OFF」にならない場合は、Royal Enfield 認定サービスセンターで車両を点検し、修理してください。



始動



- クラスター内のフューエルレベルインジケーターをチェックして、燃料タンクに十分な燃料があるかどうかを確認します。最後のバーが点滅し続ける場合は、タンク内のフューエルレベルが低いことを示します。直ちに燃料を補給してください。
- クラッチレバーを引いてクラッチを解除し、握った状態で保持します。
- エンジンが始動するまで、スタータースイッチを最長 5 秒間押し続けます。



注記

5 秒以内にエンジンが始動しない場合は、スタータースイッチを離し、約 5 秒間待ってからエンジンの再始動を試みてください。

- 複数回試しても車両が始動しない場合は、イグニッションスイッチを OFF にしてから ON にし、もう一度始動させてください。

注意

- 車両はサイドスタンド状態で始動できますが、ギアが噛み合うと停止します。このサイドスタンドカットオフ機能は、運転者の安全のために提供されています。車両が移動 / 始動する前にサイドスタンドが格納されていることを確認してください。

注意

- エンジンが始動しない場合、スタータースイッチを長時間押したままにしないでください。バッテリーが 10 V のしきい値を下回るまで放電してしまいます。Royal Enfield 認定サービスセンターで車両を点検し、始動しない原因を特定して修理してください。
- 必ずアイドリング回転数が安定して一定になってから、加速してください。

始動

注意

- 特に冷間条件では、エンジンが始動した直後に加速しないでください。エンジンオイルが循環してすべての内部可動部品が潤滑されるように、エンジン温度が上昇するまで、エンジンは少なくとも 120 秒間アイドリング回転数で稼働させてください。この情報は重要です。遵守しないと、エンジン内部に重大な損傷が発生します。

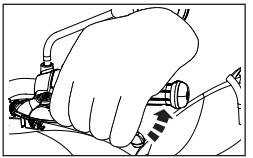
⚠ 警告

車両に乗る際は、十分注意してください。注意を怠ると、事故を引き起こし、ご自身や他の道路利用者、通行人に怪我を負わせるおそれがあります。

- ギアがニュートラル位置にあり、スピードメーターのニュートラルランプが点灯していることを確認します。ニュートラルに入れるには、ギアをシフトしながら車両をゆっくりと前後に動かします。

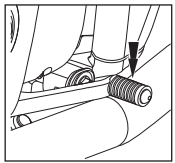
注意

車両を前後に動かさずにギアをシフトチェンジしないでください。ギア機構が損傷するおそれがあります。



- クラッチレバーを握ったままにします。
- スターターボタンを押し、エンジンが始動するまで押し続けます。エンジンが始動する前にボタンから手を離さないでください。
- 3 回連続でクランキングした後はスターターボタンを 5 秒以上押さず、バッテリーが回復するまで 15 ～ 20 秒待ちます。

ギアシフト、運転、停止



ギアシフトを行う前に、クラッチレバーを完全に握ってください。クラッチレバーを完全に握らないと、始動不良やエンジンストールの原因となるだけでなく、トランスミッション部品の損傷にもつながります。

- 車両がニュートラル位置にある時は、ギアシフトレバーをつま先で押し下げて、1速にします。
  ギアシフトパターン
  1 — N — 2 — 3 — 4 — 5 — 6
- 市街地走行での渋滞時にのみ、1速の状態でエンジン回転数をアイドリング付近～2000 rpmにし、半クラッチを使用することをお勧めします。他のギアの使用時や高回転域では、半クラッチを避けてください。使用するほどクラッチの寿命が短くなります。加速/減速時はクラッチを完全に切り、ギアを切り替え、クラッチを徐々に（ゆっくりではなく）接続するようにしてください。

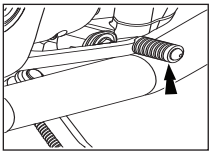
推奨シフトアップ速度		
ギアチェンジ	km/h	miles
1速～2速	25	16
2速～3速	35	22
3速～4速	45	28
4速～5速	60	38
5速～6速	75	47

推奨シフトダウン速度		
ギアチェンジ	km/h	miles
6速～5速	70	44
5速～4速	55	34
4速～3速	40	25
3速～2速	30	19
2速～1速	20	13

ギアシフト、運転、停止

注意

- クラッチレバーを急に放し、スロットルの開きが不十分だと、車両はスムーズに発進せず、エンジンが停止してしまいます。
- エンジン回転数が非常に高い状態でクラッチレバーが急に放されると、車両が突然動き出します。車両が制御不能となって事故につながり、運転者 / 他の道路利用者 / 通行人の負傷や死亡、車両の損傷につながる可能性があります。
- クラッチを放して車両を運転する際は、常に細心の注意を払ってください。
- ギアシフトレバーをつま先で押し上げて、2 速および続くギアへシフトチェンジします。



- 車両が 1 速で 25 km/h の速度に達したら、車両の速度が増すにつれて 2 速およびそれ以上のギアへシフトチェンジします。

注記

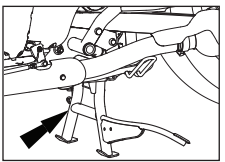
必ずギアをニュートラル位置にして車両を始動してください。

エンジン回転数が低下した場合や、上り坂走行中、あるいは速度を落として走行しているときは、エンジンのストールや過負荷を防ぐため、適切な低速ギアへシフトチェンジしてください。

- 車両を減速して停止する際は、必ず低いギアへ適切にシフトチェンジしてください。
- 車両を完全に停止させる直前に、必ずギアをニュートラル位置へシフトチェンジしてください。
- スロットルを完全に閉じ、クラッチレバーをゆっくりと離し、車両がニュートラル位置にあってニュートラルランプが点灯していることを確認します。
- 車両を安全な場所に停車させ、イグニッションを「OFF」にして、エンジンキルスイッチを「OFF」にします。

駐車

センタースタンドで車両を駐車する

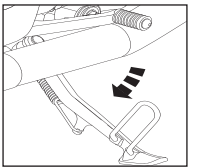


- 車両を直立させて駐車してください。
- ハンドルバーをまっすぐな位置でしっかりと握ります。
- センタースタンドを下げて、スタンドの両脚が固い地面に接するようにします。
- センタースタンドの支点レバーに圧力をかけ、車両を後方に引きます。
- ステアリングをロックし、ハンドルバーがしっかりとロックされていることを確認してから、イグニッションバレルからキーを抜きます。

注記

センタースタンドは、Continental GT 650モデルには装備されていません。ただし、センタースタンドはアクセサリーとして別料金で取り付けることが可能です。アクセサリーとしてセンタースタンドを取り付けたい場合は、最寄りのRoyal Enfield認定サービスセンターにご連絡ください。

サイドスタンドで車両を駐車する



- 車両を直立させて駐車してください。
- サイドスタンドを立てます。車両が地面にしっかりと支えられるまで、車両を左側に傾けます。

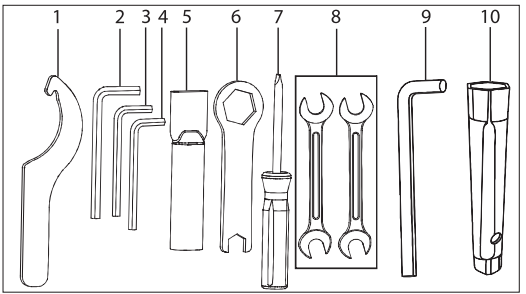
⚠ 警告

- 車両を運転する前に、どちらのスタンドも完全に格納されていることを確認してください。
- 車両が倒れて自分や他人が怪我をしたり、車両の部品が損傷したりしないように、駐車時には細心の注意を払い、しっかりとした平坦な場所に駐車してください。
- サイドスタンドは車両の重量に合わせて設計されています。サイドスタンドに立てている時は車両に座らないでください。サイドスタンドやフレームが破損し、車両が倒れるおそれがあります。

ツールキット

ツールキットは車両の右サイドパネルに収納されています。

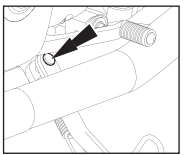
シリアル番号	説明	数量
1	Cスパナ	1
2	六角レンチ 6 mm	1
3	六角レンチ 5 mm	1
4	六角レンチ 4 mm	1
5	延長チューブ	1
6	リングスパナ 24 x 14 コンビネーション	1
7	ドライバー 06 x 160	1
8	ダブルエンドスパナ 10 x 12	2
9	トミーバー	1
10.	スパークプラグツール	1



メンテナンスのヒント

以下の簡単なメンテナンス作業は、車両の状態を維持するのに役立ちます。ただし、完全なメンテナンスが必要な場合は、Royal Enfield 認定サービスセンターにお問い合わせいただくことをお勧めします。

ハンドレバー、センタースタンド、サイドスタンドのピボット

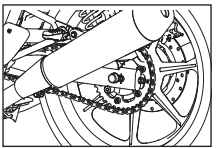


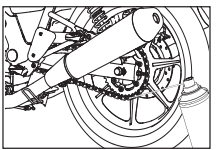
- ピボット部を清掃し、土、汚れ、錆などがないことを確認します。
- ピボットに潤滑油を差します。

注記

土や汚れが堆積しないように、余分な潤滑剤を拭き取ってください。

ドライブチェーン

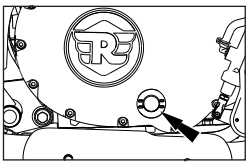




- リアホイールを回転させながら、ドライブチェーンに推奨チェーン洗浄溶剤をスプレーします。
- ドライブチェーンに洗浄溶剤が十分かつ完全にかかっていることを確認します。必要に応じて、適切なブラシを使用してチェーンから固い堆積物を取り除いてください。
- 数分間待ってからチェーンを徹底的に洗浄し、土や汚れなどを除去します。
- リアホイールをゆっくり回転させながら、チェーンリンクに推奨のチェーン潤滑剤を塗布します。
- 数分後、きれいな布で余分なチェーン潤滑剤を拭き取ります。

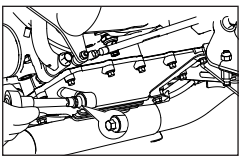
メンテナンスのヒント

エンジンオイルの適正量の確認



- 車両が地面に対して、真っ直ぐな位置であることを確認してください。
- 車両を始動し、約 3000 rpm まで、10 秒間ゆっくりと回転数を上げます。
- 15 秒間、車両をアイドリング回転数のままにします。
- エンジンを OFF にして、オイルが落ち着くまで約 10 分間待ちます。
- エンジンオイルのレベルは MAX に近い状態にしてください。
- オイルレベルが上記の状態にない場合は、オイルを「MAX」状態まで補充し、手順を繰り返します。
- クラッチ機能に影響を与えるおそれがあるため、「MAX」マークを超えてオイルを入れないでください。

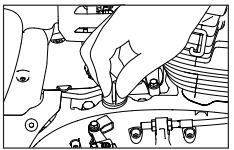
エンジンオイル排出



- 車両が地面に対して、真っ直ぐな位置であることを確認してください。
- エンジンオイルは、より速く排出されるよう、必ずエンジンが十分に暖まった時に排出してください。
- オイルドレンボルトを取り外し、エンジンオイルが完全に排出されるまで最低 5 分間お待ちください。
- 排出されたエンジンオイルの量は、約 2.2 L～2.9 L になります（オイル排出量は走行距離によって異なります）。

メンテナンスのヒント

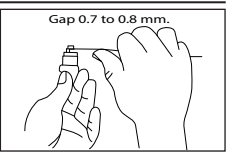
エンジンオイル交換時のオイル充填



- 車両が地面に対して、真っ直ぐな位置であることを確認してください。
- クランクケース内のオイルフィルター接合面、組み立てる新しいオイルフィルターを新しいゴムガスケットとあわせて清掃します。
- オイルパンのオイル排出穴接合面とドレンボルトを清掃します。
- 新しいワッシャーを使用してください。指定されたロックタイトを使用してドレンボルトを取り付けます。
- オイルフィラープラグを外して、クランクケース内のオイルフィラーキャップ接合面とフィラープラグを清掃します。
- 指定された新しいエンジンオイルを 3.1 リットル充填します。
- 新しいオイルフィラープラグの O リングを使用して、オイルフィラープラグをクランクケースに取り付けます。
- 以下のオイルレベル確認手順に従って、オイルレベルを点検します。

スパークプラグ

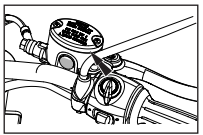
清掃と調整プラグキャップ



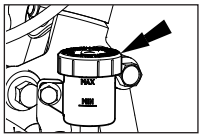
- スパークプラグからスパークプラグキャップを外します。
- スパークプラグにスパークプラグレンチを当て、スパークプラグを緩めてシリンダーヘッドから取り外します。
- スパークプラグにカーボン堆積物がないか、中心電極に不均一な摩耗がないか確認してください。
- プラグの絶縁体先端と電極を丁寧に清掃してください。
- 電極ギャップが 0.7 ～ 0.8 mm の間にあるか確認し、セットします。
- スパークプラグは、必ず推奨仕様に従って交換してください。
- スパークプラグ取り付け部分とネジ山に「アンチシーズ（固着防止剤）」を薄く塗布し、スパークプラグを手で締めて固定します。
- スパークプラグレンチを使用して、スパークプラグを 10 ～ 15 Nm のトルクで締めます。

メンテナンスのヒント

ブレーキフルードの点検



フロントブレーキ



リアブレーキ

車両を平らで水平な場所に直立させます。

フロント：ブレーキフルードリザーバーが水平になっていること、液面がウィンドウの中央（最低レベルとする）にあることを確認します。
リア：ブレーキフルードリザーバーが水平になっていること、液面が「MAX」レベルマークと「MIN」レベルマークの間にあることを確認します。

注意

- ブレーキフルードは腐食性が非常に高く、塗装された部品に損傷を与える可能性があります。ブレーキフルードが車両のどの部分にもこぼれないようにしてください。こぼしてしまった場合は、損傷を防ぐために、その部分を直ちに濡れた柔らかい布（できれば濡れた布）で拭いてください。
- DOT4 と他のブレーキフルードを混ぜないでください。

メンテナンスのヒント

注記

- 取り外す前にフィラーキャップを清掃してください。密封容器に入ったDOT4ブレーキフルードのみを使用してください。
- 指定されたブレーキフルードのみを使用してください。そうしないと、ゴムシールが劣化して漏れが発生する可能性があります。
- 同じタイプのブレーキフルードを補充します。DOT4 以外のブレーキフルードを追加すると、有害な化学反応が発生する可能性があります。
- 補充時にブレーキフルードリザーバーに水や埃が入らないように注意してください。水は液体の沸点を著しく下げ、ベーパーロックを引き起こす可能性があります。また、汚れはABS 油圧ユニットのバルブを詰まらせる可能性があります。

警告

- ブレーキフルードレベルが不十分だとブレーキシステムが故障します。
- ブレーキフルードが古いとブレーキ効果が低下します。
- フロントブレーキとリアブレーキのブレーキフルードを、定期メンテナンススケジュールに従って交換するようにしてください。
- ブレーキフルードは子供の手の届かない所に保管してください。
- ブレーキフルードが皮膚、目、ウェアに触れないようにしてください。
- ブレーキフルードは腐食性が非常に高く、塗装された部品に損傷を与える可能性があります。ブレーキフルードが車両のどの部分にもこぼれないように注意してください。こぼしてしまった場合は、直ちに柔らかい布で拭き取って、損傷を防いでください。

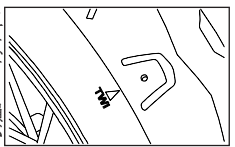
メンテナンスのヒント

タイヤとホイールの点検

- 定期的にタイヤのトレッドの摩耗、ひび割れ、亀裂を点検してください。

トレッドの深さの最小値：	
フロントタイヤ：1 mm	リアタイヤ：2 mm

- タイヤのトレッドに石、破片、釘、その他の粒子がかみ込んでいないか点検し、あれば取り除いてください。



- ホイールのスポークの損傷と、ホイールリムのがたつきや振れを、定期的に点検してください（スポークホイールモデルのみに適用）
- タイヤを再取り付けする時は、必ずタイヤのビードがリムに均一に取り付けられているか確認してください。
- 必ず推奨されるタイヤおよびチューブを、下に示す適正な空気圧に調整してください。

タイヤ空気圧	フロント	リア
1名乗車	32 psi/2.24 kg/cm^2	36 psi/2.53 kg/cm^2
2名乗車	32 psi/2.24 kg/cm^2	39 psi/2.74 kg/cm^2

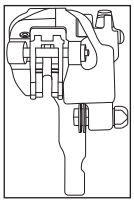
警告

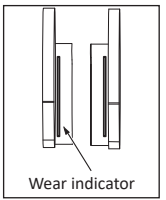
- タイヤの空気圧が低いとタイヤが過熱し、タイヤが損傷して運転者が負傷するおそれがあるため、適切なタイヤ圧で車両を運転することをお勧めします。
- 新しいタイヤに交換する場合は、Royal Enfield推奨のタイヤ仕様を使用することをお勧めします。Royal Enfieldが推奨するタイヤと同じ仕様のタイヤを使用することをお勧めします。これを守らないとタイヤが損傷し、運転者が負傷するおそれがあります。

メンテナンスのヒント

ブレーキパッド

- 定期メンテナンスチャートに指定された間隔で、フロントブレーキパッドとリアブレーキパッドの摩耗を点検してください。



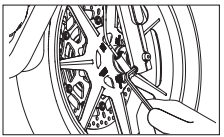


フロント / リア： ブレーキパッドがインジケーターまで摩耗している場合は、パッドを交換してください。

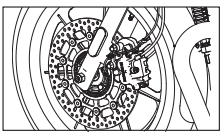
注記

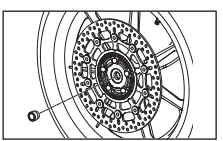
- ディスクブレーキを装備した Royal Enfield の車両は最適なブレーキシステムを備えており、あらゆる条件で優れた安全なブレーキ性能を発揮するように作られています。
- ディスクブレーキシステムは、特定の走行条件下で軽いノイズを発生させることがあります。これは、あらゆるディスクブレーキパッドについて、まったく正常な特性です。これは車両やブレーキシステムの性能には一切影響しません。
- Royal Enfield では、堅牢かつ厳格なテストおよび開発プロトコルを備え、品質と耐久性の世界的な検証基準を遵守しています。当社は、お客様に最高の所有体験を提供することをお約束します。

フロントホイールの取り外し(アルミホイールの場合)

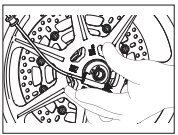


- 車両がしっかりとした平坦な場所に直立していることを確認してください。
- エンジンのフロントエンドに木製のブロックを置いて車両を支え、フロントホイールが最低 5 cm (2 inch) 地面から離れるようにします。
- 右側の配線ハーネスから、スピードメータードライブカプラーを外します。
- 右側下部フロントフォークのピンチボルトを緩めます。
- アクスルナットをワッシャーと共に取り外し、ホイールアクスルを右側で保持し、左側で六角ナットを完全に緩めます。
- アクスルナットとワッシャーをホイールアクスルから取り外します。





- フロントホイールスピンドルを叩いて取り外し、ホイールを下部で支えながら車軸を左側から優しく叩き、車軸を右側から取り外します。



注意

フォークから車軸を取り外す際は、ホイールスペーサーとスピードセンサーを固定するように注意してください。

- フロントホイールをフォークからスライドさせて取り出します。

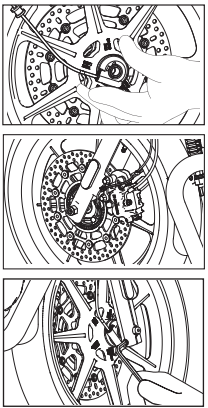
注意

フロントホイールを取り外した状態でブレーキレバーを握らないでください。ブレーキパッドがブレーキキャリパーから外れてしまいます。

- フロントブレーキレバーが誤って握られた場合にブレーキパッドが作動しないように、ブレーキパッドの間に 4 mm 厚の木片または段ボールシートを挟みます。
- ブレーキシステムと ABS に影響を与えてしまうため、フロントブレーキディスクまたはトーンリングを損傷しないように注意してください。

フロントホイールの再取り付け（アルミホイールの場合）

- ブレーキパッドの間に挟まれている木片 / 段ボールシートを取り外します。
- スピードメータードライブを右側の正しい位置に配置します。
- 段付きスペーサーを左側のホイールハブに取り付けてください。
- ホイールをスピードメータードライブと共に、フォークの端と端の間に挿入します。ブレーキディスクがブレーキパッドの間に位置していることを確認してください。
- フロントホイールを下部で支え、取付穴が揃っていることを確認してから、ホイールアクスルを右側フォークエンドと共に挿入します。車軸のネジ山部分が左側フォークエンドで完全に確認できるようになるまで、車軸をホイールに優しく叩き込みます。



- ワッシャーとナットを車軸に取り付けます。
- ホイールアクスルを右側でしっかりと保持し、アクスルナットを 70 Nm のトルクで右側にしっかりと締めます。
- フォークエンドのピンチボルトを 25 Nm のトルクで完全に締めます。
- ホイールを回転させてスムーズに回転するか確認します。
- スピードメーターのワイヤカプラーを接続し、スピードメーターが正しく作動していることを確認します。
- ブレーキレバーを握って、フロントブレーキの効きを確認します。

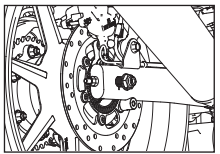
注意

車両のフロントホイールを再び組み立てる際は、細心の注意を払ってください。

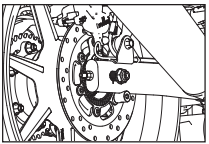
車両に乗る前に、ホイールが正しく取り付けられていることを確認してください。

これを怠ると、車両が正常に動作しなくなり、事故が発生して自分や他の道路利用者が負傷したり、死亡するおそれがあります。

リアホイールの取り外し（アルミホイールの場合）



- 車両がしっかりとした平坦な場所に直立しており、リアホイールが約 15 cm (6 inch) 地面から離れていることを確認してください。
- 左側および右側スイングアームの両方のチェーンアジャスターの位置合わせインデックスを観察してマークを付けます。
- 左側および右側のチェーンアジャスターのロックナットと調整ナットを完全に緩めます。
- 左側のホイールスピンドルをしっかりと保持し、右側の六角ナットを緩めます。
- ナットとワッシャーをホイールスピンドルから取り外します。
- リアホイールをスイングアームに完全に押し込みます。
- リアホイールを下から支え、スイングアームのクリップを外して左スイングアームからホイールスピンドルを引き抜きます。
- ブレーキホースをゆっくりと緩め、キャリパーアセンブリを右側のスイングアームから取り外します。

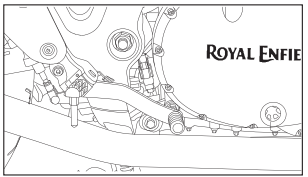


注意

- 取り外す際にブレーキホースが損傷したり、よじれないように注意してください。
- キャリパーアセンブリを適切に支え、スイングアームから外します。
- スプロケットからチェーンを緩め、リアホイールを取り外す際にチェーンが引っかかったり損傷したりしないようにします。
- ホイールの下からサポートを取り外し、リアスプロケット、ブレーキディスク、スペーサーと共にリアホイールをスイングアームからゆっくりとスライドさせます。

メンテナンスのヒント

注意



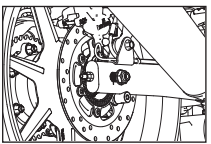
リアホイールを取り外す時にリアブレーキペダルを踏まないでください。ブレーキパッドがブレーキキャリパーから外れてしまいます。

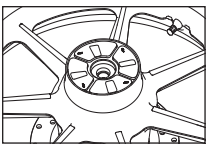
- リアブレーキペダルを誤って踏んでしまった際にブレーキパッドが作動するのを防ぐため、ブレーキパッドの間に 4 mm 厚の木片または段ボールシートを挟みます。

注意

いかなる理由でも、リアブレーキペダルを引き上げて車両を持ち上げないでください。

リアホイールの再取り付け（アルミホイールの場合）

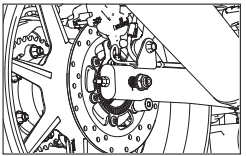


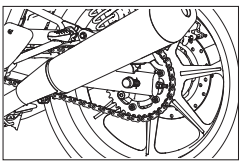


- 長い段付きスペーサーがブレーキディスク側に正しく配置され、短いスペーサーがホイールハブのスプロケット側にしっかりと配置されていることを確認してください。
- チェーンアジャスターが、左側および右側のスイングアーム内の正しい位置にあることを確認してください。
- キャリパーアセンブリを、タブ上に右側スイングアームに沿って取り付けてください。
- リアホイールをスプロケットとともに左側に配置し、ブレーキディスクが右側のブレーキパッドの間にあることを確認します。
- リアホイールを持ち上げ、チェーンアジャスター内のスイングアームにあるブレーキキャリパーブラケット穴のスロットと、ハブのセンターホールが揃っていることを確認します。

メンテナンスのヒント

- リアホイールを適切に支え、リアホイールスピンドルを左側のスイングアームに沿ってホイールハブに挿入します。
- 長い段付きスペーサーがブレーキに沿って正しく配置され、短いスペーサーがホイールハブのスプロケット側に沿って配置されていることを確認してください。
- ネジ山が右側で完全に確認できるようになるまで、スピンドルをゆっくりとホイールハブのスロットに叩き込みます。
- ドライブチェーンをスプロケットに取り付け、正しく取り付けられていることを確認します。
- リアホイールが自由かつスムーズに回転するか確認します。





- ワッシャーと六角ナットを右側のホイールスピンドルに取り付けます。
- インデックスマークがスイングアームの両側で正しく位置合わせされるように、左右のアジャスターのチェーン調整ナットを締めます。
- チェーンの張りとホイールのアライメントが正しいかどうか確認します。
- スピンドルの左側をしっかりと保持し、右側の六角ナットを 70 Nm の設定トルクで締めます。
- ブレーキホースを、右側スイングアームに沿ってクリップにはめ込みます。
- リアブレーキの作動効率が正しいことを確認します。

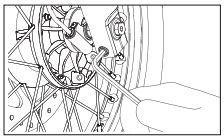
注意

車両のリアホイールを取り付け直す際は、細心の注意を払ってください。

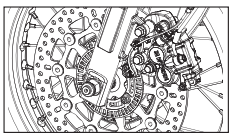
車両に乗る前に、ホイールが正しく取り付けられていることを確認してください。

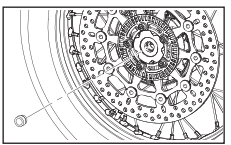
これを怠ると、車両の性能が低下し、自分や他の道路利用者が負傷したり、死亡する事故につながるおそれがあります。

フロントホイールの取り外し（スポークホイールの場合）

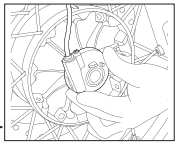


- 車両がしっかりとした平坦な場所に直立していることを確認してください。
- エンジンのフロントエンドに木製のブロックを置いて車両を支え、フロントホイールが地面から5 cm以上地面から離れるようにします。
- 右側の配線ハーネスから、スピードメータードライブカプラーを外します。
- 右側下部フロントフォークのピンチボルトを緩めます。
- アクスルナットをワッシャーと共に取り外し、ホイールアクスルを右側で保持し、左側で六角ナットを完全に緩めます。
- アクスルナットとワッシャーをホイールアクスルから取り外します。





- フロントホイールスピンドルを叩いて取り外し、ホイールを下部で支えながら車軸を左側から優しく叩き、車軸を右側から取り外します。



注意

フォークから車軸を取り外す際は、ホイールスペーサーとスピードセンサーを固定するように注意してください。

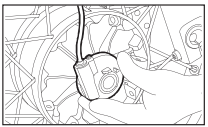
- フロントホイールをフォークからスライドさせて取り出します。

注意

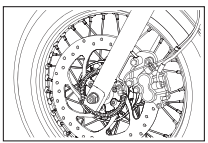
フロントホイールを取り外した状態でブレーキレバーを握らないでください。ブレーキパッドがブレーキキャリパーから外れてしまいます。

- フロントブレーキレバーが誤って握られた場合にブレーキパッドが作動しないように、ブレーキパッドの間に4mm厚の木片または段ボールシートを挟みます。
- ブレーキシステムとABSに影響を与えてしまうため、フロントブレーキディスクまたはトーンリングを損傷しないように注意してください。

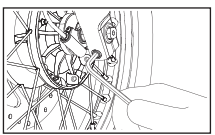
フロントホイールの取り付け（スポークホイールの場合）



- ブレーキパッドの間に挟まれている木片 / 段ボールシートを取り外します。
- スピードメータードライブを右側の正しい位置に配置します。
- 段付きスペーサーを左側のホイールハブに取り付けてください。



- ホイールをスピードメータードライブと共に、フォークの端と端の間に挿入します。ブレーキディスクがブレーキパッドの間に位置していることを確認してください。



- フロントホイールを下部で支え、取付穴が揃っていることを確認してから、ホイールアクスルを右側フォークエンドと共に挿入します。車軸のネジ山部分が左側フォークエンドで完全に確認できるようになるまで、車軸をホイールに優しく叩き込みます。
- ワッシャーとナットを車軸に取り付けます。
- ホイールアクスルを右側でしっかりと保持し、アクスルナットを 70 Nm のトルクで右側にしっかりと締めます。
- ピンチボルトを 25 Nm のトルクでフォークエンドに完全に締めます。
- ホイールを回転させてスムーズに回転するか確認します。
- スピードメーターのワイヤカプラーを接続し、スピードメーターが正しく作動していることを確認します。
- ブレーキレバーを握って、フロントブレーキの効きを確認します。

注意

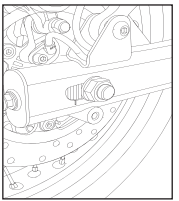
車両のフロントホイールを再び組み立てる際は、細心の注意を払ってください。

車両に乗る前に、ホイールが正しく取り付けられていることを確認してください。

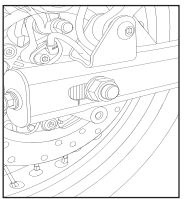
これを怠ると、車両が正常に動作しなくなり、事故が発生して自分や他の道路利用者が負傷したり、死亡するおそれがあります。

メンテナンスのヒント

リアホイールの取り外し（スポークホイールの場合）



- 車両がしっかりとした平坦な場所に直立しており、リアホイールが約 15 cm (6 inch) 地面から離れていることを確認してください。
- 左側および右側スイングアームの両方のチェーンアジャスターの位置合わせインデックスを観察してマークを付けます。
- 左側および右側のチェーンアジャスターのロックナットと調整ナットを完全に緩めます。
- 左側のホイールスピンドルをしっかりと保持し、右側の六角ナットを緩めます。
- ナットとワッシャーをホイールスピンドルから取り外します。
- リアホイールをスイングアームに完全に押し込みます。
- リアホイールを下から支え、スイングアームのクリップを外して左スイングアームからホイールスピンドルを引き抜きます。
- ブレーキホースをゆっくりと緩め、キャリパーアセンブリを右側のスイングアームから取り外します。



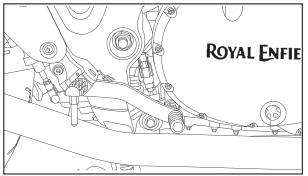
注意

- 取り外す際にブレーキホースが損傷したり、よじれないように注意してください。
- キャリパーアセンブリを適切に支え、スイングアームから外します。
- スプロケットからチェーンを緩め、リアホイールを取り外す際にチェーンが引っかかったり損傷したりしないようにします。
- ホイールの下からサポートを取り外し、リアホイールをリアスプロケット、ブレーキディスク、スペーサーと共にスイングアームからゆっくりとスライドさせます。

メンテナンスのヒント

注意

リアホイールを取り外す時にリアブレーキペダルを踏まないでください。ブレーキパッドがブレーキキャリパーから外れてしまいます。

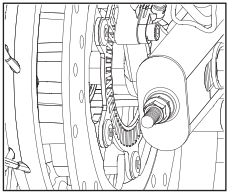


- リアブレーキペダルを誤って踏んでしまった際にブレーキパッドが作動するのを防ぐため、ブレーキパッドの間に 4 mm 厚の木片または段ボールシートを挟みます。

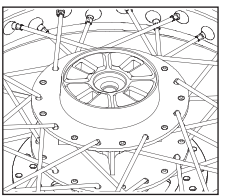
注意

いかなる理由でも、リアブレーキペダルを引き上げて車両を持ち上げないでください。

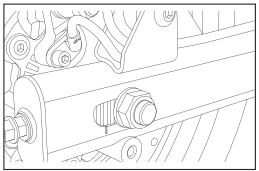
リアホイールの取り付け（スポークホイールの場合）

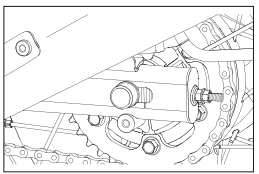


- 長い段付きスペーサーがブレーキディスク側に正しく配置され、短いスペーサーがホイールハブのスプロケット側にしっかりと配置されていることを確認してください。
- チェーンアジャスターが、左側および右側のスイングアーム内の正しい位置にあることを確認してください。
- キャリパーアセンブリを、右側スイングアームのタブ上に沿って取り付けてください。
- リアホイールをスプロケットとともに左側に配置し、ブレーキディスクが右側のブレーキパッドの間にあることを確認します。
- リアホイールを持ち上げ、チェーンアジャスター内のスイングアームにあるブレーキキャリパーブラケット穴のスロットと、ハブのセンターホールが揃っていることを確認します。



メンテナンスのヒント





- リアホイールを適切に支え、リアホイールスピンドルを左側のスイングアームに沿ってホイールハブに挿入します。
- 長い段付きスペーサーがブレーキに沿って正しく配置され、短いスペーサーがホイールハブのスプロケット側に沿って配置されていることを確認してください。
- ネジ山が右側で完全に確認できるようになるまで、スピンドルをゆっくりとホイールハブのスロットに叩き込みます。
- ドライブチェーンをスプロケットに取り付け、正しく取り付けられていることを確認します。
- リアホイールが自由かつスムーズに回転するか確認します。
- ワッシャーと六角ナットを右側のホイールスピンドルに取り付けます。
- インデックスマークがスイングアームの両側で正しく位置合わせされるように、左右のアジャスターのチェーン調整ナットを締めます。
- チェーンの張りとホイールのアライメントが正しいかどうか確認します。
- スピンドルの左側をしっかりと保持し、右側の六角ナットを 70 Nm の設定トルクで締めます。
- ブレーキホースを、右側スイングアームに沿ってクリップにはめ込みます。
- リアブレーキの作動効率が正しいことを確認します。

注意

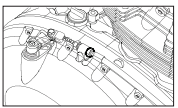
車両のリアホイールを取り付け直す際は、細心の注意を払ってください。
車両に乗る前に、ホイールが正しく取り付けられていることを確認してください。
これを怠ると、車両の性能が低下し、自身や周囲の他者が負傷または命を失う事故につながるおそれがあります。

メンテナンスのヒント

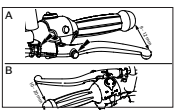
クラッチケーブルの遊び点検・調整

- クラッチケーブルの遊びはクラッチの寿命に大きな役割を果たすため、クラッチの寿命を延ばすために必要に応じて調整することをお勧めします。

クラッチレバーの遊び仕様



- 遊びはクラッチレバーのボールエンドで測定して、ハンドルバーが左側にある時に 9 ～ 12 mm である必要があります（画像 **A** を参照）。ストロークは 10 ～ 20 mm である必要があります（画像 **B** を参照）。
- 調整するには以下の手順に従ってください：



注記

測定前にクラッチレバーを 3 回操作してください。

微調整 – クラッチケーブルレバーエンド

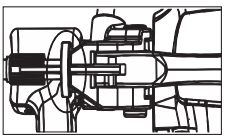
- 遊びの微調整は、クラッチケーブルレバーエンドで行います。
- ケーブル外側のロックナットを緩めます。
- 遊びを減らすにはナットを時計回りに、増やす場合は反時計回りに回します。
- 調整を行った後は、ロックナットをしっかりと締めます。
- 調整後、遊びを確認し、仕様に従っていることを確認します。

大幅な調整 – クラッチケーブルカバーの端

- 遊びの大幅な調整は、クラッチケーブルカバーの端で行います。
- ケーブル外側のロックナットを緩めます。
- 遊びを減らすにはナットを時計回りに、増やす場合は反時計回りに回します。
- 調整後、2 本のスパナを使用して、ロックナット 2 個をしっかりと締めます。
- 調整後、遊びを確認し、仕様に従っていることを確認します。

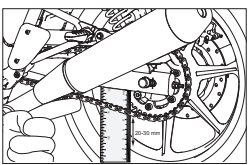
メンテナンスのヒント

注意



- 記載されている手順に従って遊びを調整することに不安がある場合は、最寄りのサービスセンターにご相談ください。
- 希望する遊びが得られない、またはクラッチスリップの疑いがある場合は、確実に遊びを確保し、最寄りのサービスセンターにご連絡ください。
- 調整ナットは、ネジ山領域に適切に収めてください。はみ出さないようにしてください(画像参照)
- クラッチの遊びは、エンジンが冷えている時にのみ確認および調整するようにしてください。
- クラッチの遊びを点検する際、クラッチケーブルを車両に取り付けたまま異常がないか点検します。
- 異常が疑われる場合は、最寄りのサービスセンターにご連絡ください。

ドライブチェーンの張り（遊び 20 ～ 30 mm）



- 車両をしっかりとした平坦な場所に、真っ直ぐに駐車してください。
- 車両がニュートラル位置にあることを確認してください。
- 図のようにドライブチェーンの遊びを測定します。ドライブチェーンの遊びは 20 ～ 30 mm です。
- ドライブチェーンの遊びが正しくないことが判明した場合は、次のように調整します：

a. リアホイールアクスルのアクスルナットを緩めます。

b. スイングアーム両側のアジャスターのロックナットを緩めます。

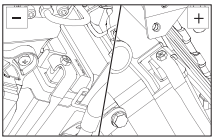
c. 遊びを減らすには、調整ナットを均等に締めます。

d. 遊びを増やすには、調整ナットを均等に緩め、リアホイールを前方に押します。
e. チェーンの張りが適切かどうかを確認します。
f. アジャスターとスイングアームのインデックスマークがスイングアームの左側と右側の両方で同じであることを確認します。
g. スピンドルを左側にしっかりと固定し、リアの六角ナットを 70 Nm のトルクで締めます。
h. 24 mm のスパナを使用して、アジャスターロックナットを締めます。

⚠ 警告

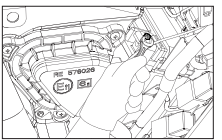
チェーンの遊びが 30 mm を超えると、チェーンの滑りが発生し、チェーンとスプロケットの摩耗率が増加する可能性があります。
チェーンを調整した後、リアホイールのスピンドルナットを締める前に、両方のホイールが正しく位置合わせされていることを確認してください。

バッテリーとメンテナンス



■ 車両には 12 V-12 Ah バッテリーが搭載されています。
■ バッテリーは、清潔で端子が腐食していないかを定期的に確認してください。

注記



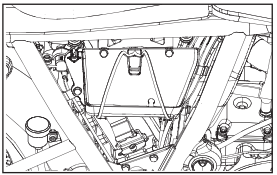
バッテリー端子の接触不良や緩みが、ECU の故障の原因となる場合があります。

取り外し

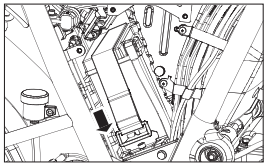
■ エンジンを OFF にして、イグニッションキーをキーバレルから抜きます。
■ バッテリーの黒色のマイナス (-) 端子のボルトを外します。

メンテナンスのヒント

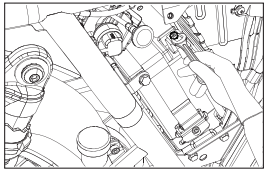
- バッテリーを取り出すには、六角ボルト3本をツールボックスから取り外します。



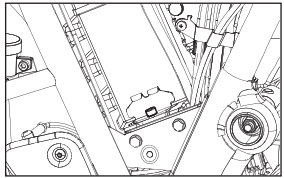
- バッテリーストラップ（ベルト）を下方に引き、ストラップロックをバッテリーストラップブラケットから緩めます。



- バッテリーの黒色のマイナス（-）端子をバッテリーから外します。

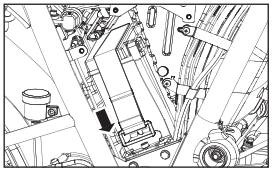


- 六角フランジネジをバッテリーストラップブラケットから緩めて取り外します。

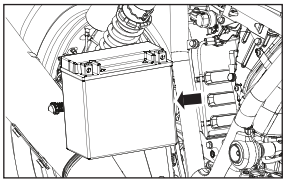


メンテナンスのヒント

- バッテリーストラップブラケットをバッテリートレイから取り外します。



- バッテリーをトレイから取り外します。



⚠ 警告

バッテリー接続を取り外す際は、必ず最初に黒色のマイナス（-）バッテリーケーブルを外し、次に赤色のプラス（+）ケーブルを外してください。

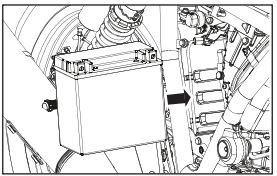
注記

バッテリー電圧の点検については、Royal Enfield認定サービスセンターまでお問い合わせください。

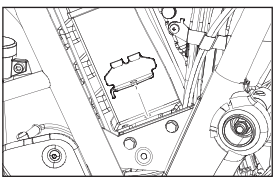
メンテナンスのヒント

取り付け

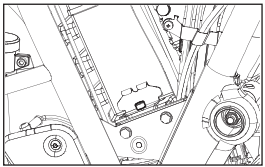
- バッテリーをトレイに取り付けます。



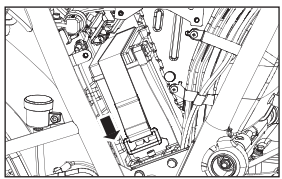
- バッテリーストラップブラケットをバッテリートレイ内に置きます。



- フランジヘッドネジをバッテリーストラップブラケットに配置して締めます。

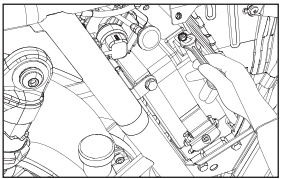


- バッテリーストラップ（ベルト）を下方に引き、ストラップロックをバッテリーストラップブラケットに固定します。

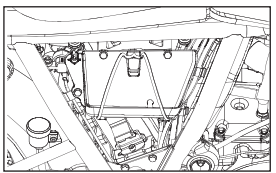


メンテナンスのヒント

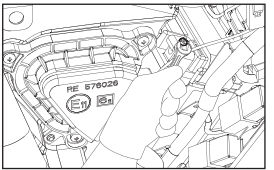
- バッテリーの赤色のプラス（+）端子のボルトを接続します。



- 六角ボルト3本をツールホルダーに配置し、締めます。



- バッテリーの黒色のマイナス（−）端子のボルトを接続します。



注意

必ず赤色のプラス（+）端子を接続してから黒色のマイナス（−）端子を接続します。

注記

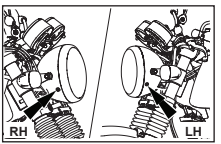
ワイヤー端子を腐食から守るため清掃し、端子にワセリンを塗布しておきます。

注意

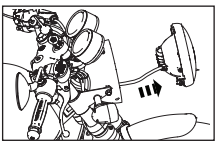
赤色のプラス（+）端子と黒色のマイナス（−）端子のケーブルをそれぞれのバッテリー端子にしっかりと接続しておきます。これを怠ると、車両の電気系統が損傷する可能性があります。

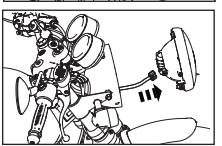
電装品の交換

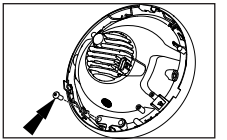
ヘッドランプの取り外し

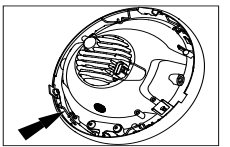


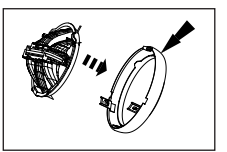
- ツールキットに含まれているドライバーを使用して、ヘッドランプカウルの両側のヘッドランプ取り付けネジをゆっくりと緩めて取り外します。
- ヘッドランプリムをリフレクターアセンブリとともにゆっくりと引き出します。
- ヘッドランプカプラーを外します。
- ツールキットに含まれているドライバーを使用して、ヘッドランプリムのネジ2本をヘッドランプカウルからゆっくりと緩めて取り外します。
- ヘッドランプのホールディングクリップ4本をヘッドランプリムから慎重に緩めます。
- ヘッドランプからリムを取り外します。









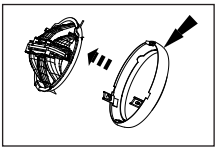


注記

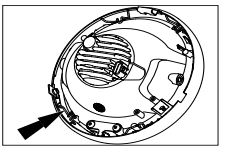
- ヘッドランプにはLED照明システムが搭載されています。故障した場合は、ヘッドランプLEDアセンブリを交換してください。
- 交換するには、Royal Enfield正規販売店/サービスセンターにお問い合わせください。

ヘッドランプの組み立て

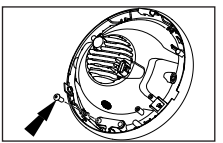
- リムをヘッドランプに取り付けます。



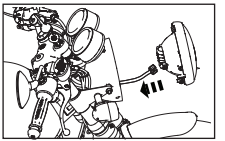
- ヘッドランプのホールディングクリップ4本をヘッドランプリムにロックします。



- ヘッドランプリムのネジ2本をヘッドランプカウルに締めて取り付けます。



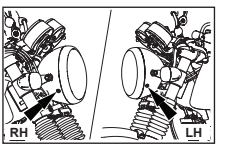
- ヘッドランプカプラーを接続します。



- ヘッドランプリムをリフレクターアセンブリと共に取り付けます。

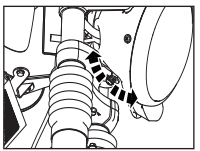


- ドライバーを使用して、ヘッドランプカウルの両側のヘッドランプ取り付けネジを締めて取り付けます。



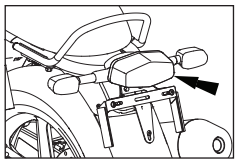
メンテナンスのヒント

ヘッドライトの光軸調整



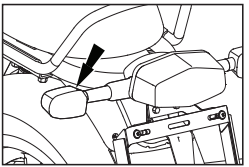
- 調整ネジを使用して、ヘッドライトの光軸を垂直方向に調整できます。
- ヘッドライトの位置を調整するには、下部取り付けネジを緩めます。焦点の調整後、下部取り付けネジを締めます。

テールランプバルブ



- 右側サイドパネルのロックを解除します。
- シートロックケーブルを引いて、シートアセンブリを取り外します。
- テールライトカバーを、取り付けネジを外して取り外します。
- 清潔な布を使用して、バルブを持って内側に押し、反時計回りに回転させて、テールライトバルブを取り外します。
- 柔らかい清潔な布を使用して、バルブを交換します。
- 取り外し手順の逆の順序でテールライトを取り付けます。

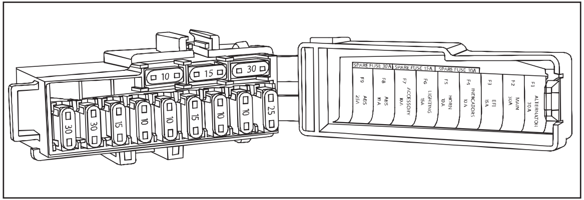
方向指示器（ウインカー）のバルブの交換



- 方向指示器（ウインカー）のハウジングからネジを取り外します。
- インジケーターのハウジングを開けます。
- ドライバーを使用して、バルブのホルダーを取り外します。
- バルブを取り外し、同じ物を柔らかく清潔な布を使用して交換します。
- ホルダーを正しい位置に取り付けます。
- ゴム製のガスケットカバーを固定します。
- インジケーターのハウジングカバーを取り付けます。

ヒューズとヒューズキャリア

- ヒューズキャリアはシートの下にあります。
- 右側サイドパネルのロックを解除します。
- ノブを引いてシートロックを解除し、シートを取り外します。



⚠ 警告

電子制御ユニット（ECU）は、電気接続が緩い、バッテリー端子が緩いなどの理由で故障する場合があります。そのため、すべての電気接続を問題のない状態に保つことが非常に重要です。

ミニブレードヒューズ使用リスト

ヒューズ ID 番号	色	定格	備考
1	緑	30 A	オルタネーター
2	緑	30 A	メインヒューズ
3	青	15 A	イグニッションヒューズ EFI
4	赤	10 A	シグナリングヒューズ
5	赤	10 A	ホーンヒューズ
6	青	15 A	照明ヒューズ(ヘッドランプ)
7	赤	10 A	アクセサリーヒューズ
8	赤	10 A	ABS ヒューズ
9	白	25 A	ABS ヒューズ
予備ヒューズリスト			
1	RD	10 A	予備ヒューズ 1
2	BU	15 A	予備ヒューズ
3	GN	30 A	予備ヒューズ

警告

ヒューズが切れた場合は、車両の電気系統を徹底的に点検し、直ちに修理を行ってください。これを怠ると、ヒューズが再び切れる原因となる可能性があります。

指定された定格以外のヒューズを使用したり、その他の導電性材料や低品質のヒューズを使用すると、電気システム全体が損傷します。

できるだけ早くホルダー内の予備ヒューズへ交換してください。

切れたヒューズをジャンパー接続しようとすると、ショートや火災の危険が生じます。切れたヒューズは必ず同じ定格の新しいヒューズと交換してください。

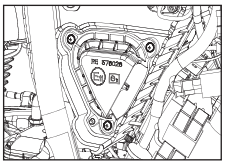
注記

バルブ、ヒューズ、電気部品を交換する時は、イグニッションスイッチが OFF の位置になっていることを確認してください。

メンテナンスのヒント

エアフィルター

- サイドパネルの下側のネジを外し、サイドパネルを取り外します。
- エアフィルターカバーのネジを取り外し、エアフィルターのボックスカバーを取り出します。
- フィルターエレメントを引き出して汚れがないか確認します。フィルターエレメントを丁寧に清掃してください。



注記

エアフィルターエレメントを清掃するのに高圧圧縮空気の使用はお勧めしません。エアフィルターエレメントの取り付けは、取り外し手順の逆の順序で行います。

長距離走行の注意事項

長距離走行の出発前チェック

- Royal Enfield 正規販売店 / サービスセンターで車両の点検を受けてください。
- 計画された旅程に十分な量の燃料が常に燃料タンク内にあることを確認してください。
- 必要に応じてタイヤの空気圧を点検し、調整してください。

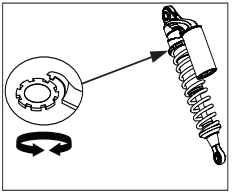
長距離走行前のチェック項目

- ボルト、ナット類が緩んでいないか
- タイヤの状態
- エンジンオイルの適正量の確認
- すべての灯火類とホーンの作動
- ドライブチェーンの適切な遊び
- クラッチケーブルの遊び

携行品

- ツールキット
- 方向指示器（ウインカー）とヒューズ
- アクセルとクラッチケーブル
- スパークプラグ、スパークプラグキャップ、燃料ホース
- 予備のチューブ（スポークホイールモデルに適用）

リアサスペンションの設定



- 車両をセンタースタンドで立てます。
- タイヤの空気圧が推奨値になっていることを確認してください。
- 調整する前に、アジャスターに土やゴミがないことを確認してください。土やゴミがある場合は、調整する前に適切に清掃してください。
- アジャスターは5段階で、第1ノッチ位置にあります。
- Cレンチを使用してアジャスターを時計回りに回し、ショックのプリロードを減少させます。
- Cレンチを使用して反時計回りに回し、ショックのプリロードを調整（増加）させます。
- 両側で同じ調整を行ってください。調整が不均一だと、運転者が不快に感じる可能性があります。

注記

- サスペンションを調整するにはCスパナが必要です。車両のツールキットに付属しているCスパナを使用することをお勧めします。テコ作用で使用する際は、エクステンションチューブを使用してください。
- 最適なスプリングのプリロード設定は、ライダーの体重、荷物、および同乗者の体重に合わせて調整してください。
- フル積載時（GVW状態）はプリロードを増やし、最後のノッチで止めることをお勧めします。これにより、ハンドリングと安定性を理想のバランスで確保できます。
- この目的のために、Cスパナ以外の追加のツールを使用しないでください。

リアサスペンションの設定

状態	最大基準積載量	サスペンション設定ノッチ	タイヤ空気圧 (psi)	
			フロント	リア
積載物なし / 1名乗車 / 運転者のみ。	運転者 90 kg まで	第 1	32	36
積載物あり / 2名乗車 / 運転者 + 同乗者 / 運転者 + 同乗者 + アクセサリー	最大積載量は 180 kg (運転者の重量、同乗者の重量、アクセサリーを含む)	第 5	32	39

* 左右リアサスペンションのプリロードが均等に設定されていることを確認してください。

洗車手順

注意

- イグニッションキーを抜き、粘着テープを使用してイグニッションキーバレルスロットを密閉します。
- 洗車を進める前に、左サイドパネルの内側にあるツールキットやその他の関連文書を取り出してください。
- サイレンサーのテールパイプ、ホーン、コントロールスイッチを適切なビニール袋で覆い、しっかりと縛って水の浸入を防ぎます。
- 洗車は、エンジンが冷えた状態の時にのみ行ってください。
- 水の浸入を防ぐため、洗車中はサイドパネルを取り外さないでください。
- エンジン部分は推奨の非腐食性溶剤を使ってブラシをかけ、汚れやグリースを除去します。
- 低圧水ジェットを使用して洗車します。
- ヘッドランプ、スピードメーター、トリッパー、フラッシャーライト、フロントおよびリアホイールハブ、電気接続部および配線、コントロールケーブル、スパークプラグ、バッテリー、ABS ECU、EMS ECU、サイドミラー、ステアリングステムなどに水を勢いよくかけないでください。
- ステアリングステムベアリングまたはステアリングステムベアリングのシール、ホイールベアリングのシール、ブレーキキャリパー、吸気口および排気口の近くでは、高圧洗浄機やスチームジェットクリーナーを使用しないでください。
- 塗装面やゴム部品に腐食性溶剤を塗布しないでください。

洗車手順

- 塗装部分は、ぬるま湯と中性洗剤を使って汚れなどを落としてください。
- 車両を真水で徹底的に洗い流して洗剤を除去します。
- 通気孔からの水の浸入を防ぐため、インストルメントクラスターの下側に向けて直接水を吹きかけないでください。
- 可能であれば、圧縮空気を使用して車両の奥まった部分や電気接続部などから水分を吹き飛ばしてください。
- 車両を塩分の多い状況（例：冬季に道路に塩を撒く地域）または海岸地域付近で運転した場合は、腐食や錆の蓄積を防ぐために、走行後に冷水で洗車することをお勧めします。温水は塩分との化学反応により車両を傷めるおそれがありますので、洗車には使用しないでください。洗車後、車両が完全に乾いたら、部品を腐食から保護するために、すべての金属およびクロムメッキ部分に腐食防止スプレーを塗布することをお勧めします。
- ブレーキディスクに防錆スプレーを塗布しないことをお勧めします。
- 電子部品の清掃や洗浄にはガソリン、ブレーキオイル、その他の可燃性液体を使用しないでください。
- 車両コンフィギュレーターを使用して選択した部品は、石鹸や化学薬品で洗わず、真水のみで洗ってください。
- デカール、電気部品、カプラージョイント、サイレンサーテールパイプや、ステアリングコーンキット、ブレーキペダル、ホイールベアリング、チェーン、ブレーキカム、スイングアームブッシュなどのラジエーター潤滑ポイントの端に、直接ジェット噴射をしないでください。これらは(ジェットモードではなく)スプレーモードでのみ洗浄するようにしてください。

洗車手順

洗車後

- 清潔で柔らかく、糸くずの出ない吸水性の布またはセーム革で拭いて、車両が完全に乾いていることを確認してください。
- すべての粘着テープをはがします。
- コントロールケーブル、フットレスト、サイドスタンド、センタースタンドのピボット、ブレーキおよびギアシフターのリンケージ、ドライブチェーンなどに潤滑油を塗ります。
- 推奨される自動車用研磨ワックスを使用して塗装面およびメッキ面を磨きます。
- エンジンを始動し、アイドリング回転数で数分間運転してエンジンを暖めます。
- 車両をゆっくり運転し、両方のブレーキを断続的にかけてブレーキパッドの水を乾燥させます。
- ツールキットやその他の関連文書を左サイドパネル内に保管する前に、左サイドパネルの中の水分を完全に除去・拭き取ってください。

保管上の注意

車両を1か月以上使用しない場合は、以下の措置を講じてください。

- Royal Enfield認定サービスセンターで車両の点検を受けてください。
- 燃料タンクと吸気システムから燃料を完全に排出します。
- スパークプラグを外し、スパークプラグの穴から約5 mlのきれいなエンジンオイルを注ぎます。穴を閉じてエンジンを数回始動し、スパークプラグを取り付け直します。
- ドライブチェーンを徹底的に清掃し、Royal Enfieldが推奨するチェーン潤滑剤を塗布します。
- 塗布後5分経ったら、余分な潤滑剤を拭き取ってください。
- ヒューズボックスから充電回路ヒューズを取り外します。
- バッテリーは涼しく乾燥した換気の良い場所に保管してください。
- 湿気の侵入を防ぐためにサイレンサーを適切な袋で覆ってください。車両をセンタースタンドで立てます。
- すべてのメッキ部品に防錆液を塗布します。この溶液をクロム、ゴム、塗装された部品に塗布しないように注意してください。車両は湿気や埃のない、清潔な屋根付きの場所に保管してください。
- 保管後に再度使用する時は、車両を最も良い動作状態に戻すために、Royal Enfield認定サービスセンターで点検を受けることをお勧めします。
- 車両を1か月以上使用しない場合は、バッテリー端子を外してバッテリーを取り外しておくことをお勧めします。車両にバッテリーを取り付ける前に、バッテリーの電圧が仕様範囲内であることを確認してください。範囲外の場合は、認定サービス工場/バッテリー販売店で充電してください。

トラブルシューティング

車両が動かない場合に備えて、いくつかの基本的なチェック項目を以下に挙げます。これらのチェックを行った後でも問題が解決しない場合は、Royal Enfield 正規販売店 / サービスセンターで車両を点検して問題を解決し、トラブルのないパフォーマンスを確保してください。

症状	観察	確認 / 対処
エンジンが始動しない	イグニッション / エンジンキルスイッチが OFF 位置の場合	イグニッションを ON にする
	燃料タンク内のフューエルレベルが不十分な場合	燃料を補給する
	ライトが暗い / クラクションの音が弱い場合	バッテリーの電圧低下または放電 / 充電回路の問題。認定サービスセンターに問い合わせてください
	ヒューズが切れた場合	1. 同じ定格のヒューズに交換してください 2. 問題が解決しない場合は、認定サービスセンターに問い合わせてください
	スパークプラグ、キャップ、ハイテンションコードの接続の問題	スパークプラグ、キャップ、ハイテンションコードを再接続する

トラブルシューティング

症状	観察	確認 / 対処
エンジンが始動するが直ちに停止する	クラスター内の MIL ランプが点灯している場合	認定サービスセンターに問い合わせてください
エンジンの失火と不規則な作動 / 停止	燃料に不純物や水分が混入している場合	認定サービスセンターに問い合わせてください
	エンジンが熱くなりすぎた場合	エンジンを止め、冷却します
レスポンス不良	エンジン回転数が車速に対して不釣り合いに上昇する場合	クラッチの遊びを調整し、認定サービスセンターに問い合わせてください
ABS（アンチロックブレーキシステム）	ABS ランプが点灯し続ける場合	認定サービスセンターに問い合わせてください

環境保護

環境に配慮あるライダーになるために

Royal Enfield に乗って美しい場所を走り抜けたことがあるでしょう。その場所をそのままの状態で維持したいと思いませんか？他の人も楽しめるように、その場所をそのまま維持するためのヒントをいくつかご紹介します。

使用済み部品・車両の廃棄

エンジンオイル、クーラント、その他の洗浄溶剤などの液体廃棄物は定期的に交換する必要がありますが、それらはどうなるのでしょうか？土壌や水域に投棄されないように注意してください。

これらは容器に保管し、政府認定のリサイクル業者（ある場合）または Royal Enfield 認定サービスセンターに引き渡してください。

バッテリー、タイヤ、プラスチック部品、電気または電子部品、オイルフィルターについては、認可されたリサイクル業者または Royal Enfield 認定サービスセンターに引き渡してください。

洗車に使用した洗浄溶剤やスプレーは、環境に配慮した方法で処分してください。

使用済み車両とみなされる車両を処分する場合は、必ずお近くの認可 / 登録された車両処理施設に車両を引き渡すか、地方自治体に連絡して適切な手続きを取ってください。

定期メンテナンス

ここで詳しく説明されているメンテナンススケジュールは、ContinentalGT650を丁寧にメンテナンスし、トラブルのない快適な走行を実現するのに役立ちます。このスケジュールは、平均的な走行条件に基づき、定期的な点検、調整、交換、および注油を行うべき走行距離を示しています。厳しい運転条件の場合や、ほこりの多い環境で車両を使用している場合は、メンテナンスサイクルを短くしてください。専門家のアドバイスが必要な場合や、必要なメンテナンスを行うには、最寄りのRoyal Enfield認定サービスセンターにお問い合わせください。

SI番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方のタイミングで実施）										
	km （× 1,000）	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	Miles （× 1,000）	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月数	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
1	エンジンオイル	R		R		R		R		R		R
		1,000 km ごと、またはそれ以前にレベルを点検し、必要に応じて補充してください。										
2	エンジンオイルフィルターエレメント	R		R		R		R		R		R
3	吸気および排気バルブのクリアランス			I&A		I&A		I&A		I&A		I&A
4	スパークプラグ	I	I	I	I	R	I	I	I	R	I	I

定期メンテナンス

SI 番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方のタイミングで実施）										
	km （× 1,000）	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	Miles （× 1,000）	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月数	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
5	ハイテンションコードのひび割れ（亀裂）	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
6	ゴムホース（エアフィルター～スロットルボディ）	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
7	ゴムホース（インレットマニホールド / アダプター）	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
8	蒸発ガス排出装置用ゴムホース	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
9	燃料フィルター - 外部					R				R		
10	エアフィルターエレメント	C	C	R	C	R	C	R	C	R	C	R
		埃っぽい環境で操作する場合は、より頻繁に清掃 / 交換してください。										
11	エアフィルターボックス下の通気管	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I

定期メンテナンス

SI 番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方のタイミングで実施）										
	km （× 1,000）	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	Miles （× 1,000）	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月数	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
12	スロットルケーブルの遊び	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
13	クラッチケーブル / レバーの遊び	1,000 km ごとに、または必要であればそれよりも早く、調整する										
14	フロントブレーキレバーのピボットのピボット部	1,000 km ごとに、または必要であればそれよりも早く、潤滑する										
15	ブレーキパッド - フロントとリア	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
16	ディスクブレーキのフルードレベル - フロントとリア	I	I	I	I	R	I	I	I	R	I	I
17	リアブレーキペダルとギアチェンジペダルのピボット	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L
18	ブレーキホースとバンジョーボルト - フロントとリア	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I

定期メンテナンス

SI 番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方のタイミングで実施）										
	km （× 1,000）	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	Miles （× 1,000）	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月数	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
19	フロントフォークオイルの漏れ	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
		60,000 km ごと、または何らかの作業を行うたびに（いずれか早い方）、オイル交換										
20	ステアリングタッパーのローラーベアリングの遊び	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
21	リアホイールドライブチェーン	1,000 km ごとに注油および調整 / メンテナンスごと、または必要に応じてそれより早く、清掃、注油、調整										
22	リアホイールハブダンパー				I				I			
23	スポークの閉まり具合 / 前後のホイールリムの振れ（スポークホイールモデルに適用）	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I

定期メンテナンス

SI 番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方のタイミングで実施）										
	km （× 1,000）	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	Miles （× 1,000）	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月数	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
24	バッテリー端子（ワセリンを塗る）	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
25	アース線のアイレット端子			I		I		I		I		I
26	タイヤの摩耗（フロントとリア）	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
27	サイドスタンドおよびセンタースタンドのピボット	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L
28	運転者および同乗者用フットレストのピボット	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L
29	車両内の取付部分の緩みをすべて点検	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I

I - 点検（必要に応じて清掃、調整、注油、交換）　L - 注油　R - 交換　C - 清掃　A：調整

定期メンテナンス

ここで詳述するメンテナンススケジュールは、Royal Enfield 車両を、細心の注意を払ってメンテナンスし、トラブルのない整備を受けるのに役立ちます。
厳しい運転条件の場合や、汚れの多い環境、寒さや暑さによる厳しい気候条件、悪路、溜まり水、雨季において車両を使用している場合、フルスロットルで走行する場合などは、メンテナンスサイクルを短くしてください。専門家のアドバイスが必要な場合や、必要なメンテナンスを行うには、最寄りの Royal Enfield 正規販売店 / サービスセンターにお問い合わせください。

注記

50,000 km 走行後のメンテナンスについては、Royal Enfield 正規販売店 / サービスセンターにご相談の上、上記と同じサイクルで繰り返してください。

一般保証規約

Royal Enfield の車両（以下「車両」）は、材料と仕上がりに関して最高の品質基準に従って製造されています。すべての車両（登録した国に関係なく）は、他の国にある Royal Enfield 正規販売店工場 / サービスセンターで限定された保証サービスを受けることができます。登録した国に加えて、お客様は、ボーダーレス保証規約に記載されている利用規約を参照してください。

重要：本利用規約をよく読んで理解してください。

この保証は、車両の保証範囲の義務と除外のみを規定する契約条件を規定しており、Royal Enfield 正規販売店側のものではありません。この文書の内容は、Royal Enfield とその正規販売店またはスタッフとの間に代理店契約関係があることを意味するものではありません。Royal Enfield は、以下の条件に従い、通常の使用に関して車両に製造上および材料上の欠陥がないことを保証します：

1. 車両の保証は、最初の所有者への車両の販売日から 36 か月間適用され、その後の所有者に対しては、上記の保証期間満了までの残りの期間について保証が適用されます。
2. 2 人目以降の所有者が保証特典を利用するには、最寄りの Royal Enfield 認定サービスセンターに車両の購入について通知し、Royal Enfield 認定サービスセンターから求められる書類に必要な詳細事項を記入してください。
3. 取扱説明書に記載されているスケジュールに従って、それぞれの保証期間 / 走行距離 (km) の範囲内に、Royal Enfield 正規販売店 / サービスセンターにより当該車両に関するすべてのメンテナンスと整備が行われている場合に限り、車両の保証が適用されます。

一般保証規約

4. 保証期間中、Royal Enfield の保証義務は、検査の結果、不良部品に製造上の欠陥があると判断された場合にのみ、不良部品を修理するか、新しい部品と交換することに限定されます。保証期間内に交換された欠陥部品は、すべて Royal Enfield の専有財産となります。
5. この保証は、製造上の欠陥がある純正部品の修理または交換に明示的に限定されており、保証の唯一の救済手段となります。
6. 適用法によって許容される最大限の範囲において、明示的または黙示的を問わず、その他のあらゆる保証は拒否します。ここで言及されている黙示的保証の除外は、いかなる適用法によっても禁止されている範囲では適用されません。
7. 保証は以下の場合には適用されません：
   (a) 修理 / 交換中に使用されるオイル、オイルフィルター、ブレーキフルード、クーラント、燃料、グリースなどの消耗品は保証の対象外であり、これらの消耗品はお客様の負担となります。
   (b) お客様は、製品の修理またはその交換部品から生じる、または交換部品の取り付けから生じるすべてのリスクと責任を負います。保証期間中に、製品またはその一部が、当社によって許可されていない人物によって、取り外し、変更、改ざん、調整、修正、分解、修理、または何らかの方法で取り扱われた場合、本規定は直ちに有効性を失い、最初から無効となり、何ら効力を持たないものとなります。

一般保証規約

(c) メッキ部品、塗装、ゴム部品、軟質部品、ガラス部品、プラスチック部品などの通常の経年劣化（摩耗、損耗）、劣化、または錆。オイルフィルター、エアフィルターペーパーエレメント、コントロールケーブル、ブレーキシュー / ブレーキパッド、クラッチプレート、ドライブチェーン＆スプロケットキット、ステアリングボールレース、電気機器、配線ハーネスなど、通常の摩耗や損耗を受けるコンポーネント。推奨グレード以外の潤滑油、クーラント、ブレーキフルード、フォークオイル、燃料の使用、または不適切な量を使用したことにより発生した故障。

(d) 純正の部品またはアクセサリー以外の使用、適切なメンテナンスの欠如、誤った運転習慣による損傷。車両の性能に影響を与えるような改ざんによるエンジン管理システム部品（ECU、スロットルボディ、センサーなど）の損傷。事故、衝突、放置、不正使用、誤った取り扱い、火災、天災などにより損傷した部品。

(e) 軽微な振動、オイル漏れ、エキゾーストパイプの曲がりやキャタライザー部 / サイレンサー / ソフトまたはハードショックアブソーバーの変色など、車両の品質や機能に影響がないと認められる異常。

(f) エキゾーストパイプとサイレンサーの変色。これは、使用中に自然に起こる現象です。

(g) サイドカー、トレーラーヒッチなどの承認されていないアクセサリーや部品、または追加の電気負荷の取り付けによって生じた欠陥または損傷。

(h) 非認定サービスセンターで整備または修理された車両。

(i) 競技 / レース / ステージラリー / スタント / ジャンプ / アクロバットなど、または類似の活動に使用される車両。車両はそのような目的や使用のために設計または意図されていません。

(j) アーク溶接修理による、電球、ヒューズなどの電気部品、ECU などの電子部品の故障。

(k) フレームのいずれかの部分に改造 / 穴あけ / 溶接の跡がある車両。

(l) ブレーキの調整、燃料システムの清掃、エンジン調整などの通常のメンテナンス作業。

(m) バフ研磨 / 塗装 / 粉体塗装品などにより生じる酸化。

(n) 戦争、自然災害、地震、ハリケーン、竜巻、洪水、火災またはその他の類似の災害、暴動、テロ行為などを含むがこれらに限定されない、あらゆる不可抗力的事象により生じた損害。

(o) 車両または部品の不適切な組み立て、メンテナンス、保管または使用によって生じた損傷、故障または損失。

8. Royal Enfield の正規部品およびアクセサリー(該当する場合)のみを使用してください。他社製のパフォーマンスパーツを使用すると、車両の保証が無効になります。

9. 以下の場合、保証は無効となります :

(a) 車両がレクリエーションや交通以外の目的で使用される場合

(b) 車両が何らかの方法で改造されている場合

(c) シリアル番号 / 識別コードが削除、汚損、変更、または消滅している場合。

一般保証規約

10. 以下の場合は、本保証の条件および規定から明示的に除外されます：
    (a) この保証に基づいて交換部品を取り付けるための人件費（保証の対象となる純正部品またはアクセサリーがRoyal Enfield正規販売店によって取り付けられた場合を除く）。
    (b) RE車両モデル用に設計または推奨されていないREアクセサリーを改造した、またはこれをRE車両モデルに取り付けた場合。
11. Royal Enfieldは、すべての保証請求について最終決定する権利を留保します。
12. REは、車両モデルの設計を変更する権利を留保しており、すでに販売した車両にこれらの変更を適用する義務は負いません。
13. 車両、車両部品および規定のアクセサリーの購入、車両のメンテナンス、保証期間中の適用可能な保証請求の結果、Royal Enfieldは、お客様、またはお客様に関連する第三者（配偶者、家族、親戚など）に関する機密データおよび/または個人データを入手することがあります。このようなデータはお客様から、または他の情報源から入手する場合があり、一部の機密データや個人データは、Royal Enfieldの内部セキュリティシステムまたはその他の手段によって、直接的または間接的に記録される場合があります。Royal Enfieldは、関連する特定の目的の範囲内において、当該個人データを処理することがあります。お客様は、以下の定めに明示的に同意するものとします。:
    (a) Royal Enfieldが、お客様、またはお客様に関連する第三者に関する機密の個人データおよび情報を処理すること。
    (b) 限定された目的のためにお客様に関する機密の個人データおよび情報を収集・処理すること。

(c) Royal Enfield が保有する、お客様、またはお客様と関係のある第三者に関する機密の個人データおよび情報を、Royal Enfield の全世界の組織におけるサービスプロバイダー、販売店、サプライヤー、アドバイザー、オフィス、および通常の業務過程または法律により第三者への開示が求められる場合は第三者対して、世界規模で転送すること。また、マーケティング資料、ビデオなどでお客様の個人画像および音声を使用すること。

上記 13 項で明示された同意を撤回したい場合は、メールアドレス support@royalenfield.com にメールを送信することに同意するものとします。メールにて同意を撤回したい旨をご連絡いただくと、これに応じて、RE は適用法に従い、妥当な期間内に RE の記録から入手可能なお客様に関するすべての機密データおよび/または個人データを削除します。

14. 本保証の違反に対する唯一の救済手段は、Royal Enfield の選択により、欠陥のある材料、部品、または製品の修理または交換となります。本保証に規定されている救済手段は、本保証に違反した場合に誰でも利用できる唯一の救済手段です。RE は、明示的または黙示的な保証、その他の契約、過失、その他の不法行為などから生じたかどうかにかかわらず、いかなる種類の付随的損害、結果的損害または特別損害について、いかなる人物に対しても責任を負いません。この結果的損害、付随的損害および特別損害の除外は、排他的救済手段がその本質的目的を果たせないという判定とは関係なく、また、その判定が下されても存続するものとします。

15. 保証の免責： ここで明示的になされた保証を除き、RE は、事実上または法律、法令またはその他の方法により、明示的または黙示的な保証または表明を一切行いません。

16. 一般保証はインドの法律に準拠するものとし、お客様はインドのニューデリーの裁判所の専属管轄権および裁判地に同意するものとします。

ボーダーレス保証規約

RE ボーダーレス保証（個人輸入により国外へ輸出された車両には適用されません）には以下の条件が適用されます。



1. 運転者は、Royal Enfield 正規販売店で確認するために、メンテナンスおよび整備の記録、所有権の証明、および車両登録書類（原本 / コピー / ソフトコピー）を携帯してください。
2. 定期メンテナンスサービスは、取り扱い説明書のスケジュールに従って、それぞれの期間 / 走行距離で Royal Enfield 正規販売店工場 / サービスセンターから受けられます。
3. Royal Enfield 正規販売店工場 / サービスセンターの義務は、検査の結果、部品に製造上の欠陥があると判断された場合にのみ、車両の純正部品を無料で修理 / 交換することに限定されます。交換された欠陥部品は、適切な検証後、Royal Enfield の独占所有物となります。
4. 運転者は、Royal Enfield 正規販売店工場 / サービスセンターまで、費用を負担しかつ自ら手段を手配して、車両の輸送を行うものとします。

ボーダーレス保証規約

5. Royal Enfield 正規販売店工場 / サービスセンターは、可能な限り最適なタイミングで車両をお届けできるよう努めます。しかし、該当する国で必要とされる排出ガス規制や国固有の認証スペアパーツの在庫状況により、整備時間 / 期間が通常より長くなる / 延長される場合があります。
6. Royal Enfield 正規販売店工場 / サービスセンターは、フォグランプ、高出力ランプ、アフターマーケットのホーン、携帯電話充電器、ナビゲーターなどの電気部品または電子部品を含む非純正部品およびアクセサリーの分解、再組み立て、または取り外しと再取り付けの際に最大限の注意を払います。ただし、Royal Enfield 正規販売店工場 / サービスセンターは、車両の整備 / 修理中に非純正部品および / アクセサリーを取り付けるための特殊工具 / スキルなどが利用できないことによる破損 / 損傷 / 故障 / 再装着不能について責任を負わないものとします。
7. RE も、Royal Enfield 正規販売店および / またはその販売代理店も、車両の整備 / 修理の遅れによる時間 / 金銭の損失を含むいかなる損失についても責任を負わず、そのような場合の宿泊、その後の移動などの手配は運転者自身の責任となります。
8. 車両を修理のために別の工場に牽引する必要がある場合、または運転者の自国まで返送する必要がある場合、運転者自身の費用とリスクにおいて行われるものとします。
9. 残りの規約は一般保証の場合と同様となります。
10. ボーダーレス保証はインドの法律に準拠するものとし、お客様はインドのニューデリーの裁判所の専属管轄権および裁判地に同意するものとします。

最新の認定サービスネットワークについては、https://www.royalenfield.com/in/en/locate-us/service-centres をご覧ください。海外旅行中に、Royal Enfield 正規販売店から保証に関するサポートやアドバイスが必要な場合は、www.royalenfield.com/borderless-warranty/ にアクセスして詳細をご覧ください。

お客様の責任

1. お客様は、問題が明らかになった時点で直ちに、さらなる損害を防止するために可能なあらゆる措置を講じ、そのような損害から妥当な時間内に、Royal Enfield 正規販売店 / サービスセンターにその損害について通知するものとします。
2. RE が製造した車両を購入することにより、お客様は車両の保有、所有、使用、輸送に関して適用される法律および国際法をすべて確認し、遵守する責任を負うことになります。お客様は、適用法に反した車両の購入、所有、輸送、使用から直接的または間接的に生じるすべての請求について、RE を免責し、保護することに明示的に同意します。RE は正規販売店 / 販売代理店から購入した車両の誤使用について責任を負いません。

責任の制限

本規定の中に相反する内容がある場合でも、本保証に基づく Royal Enfield の責任は、Royal Enfield の単独の裁量により、欠陥のある車両の修理に限定されます。いかなる場合でも、Royal Enfield は、車両の使用から生じる間接的、特別、結果的、偶発的な損害、人身への傷害または物的損傷、時間の損失、商業上の損失、不都合、またはその他の偶発的、懲罰的、結果的な損失に対して責任を負いません。

排出ガス保証

Royal Enfield は、車両が置かれていた通常の使用状況において、車両のガス状汚染物質の排出に影響を与える可能性のあるコンポーネントに以下の保証が適用されることを証明します。

この排出ガス保証は、最初のお客様に対する初度登録日から 40,000km/3年間のいずれか早い方まで有効であり、取扱説明書に規定されている保証規定、条件、義務に加えて、それらと並行するものです。

さらに、Royal Enfield は、Royal Enfield 認定サービスセンターによる検査で車両が指定された排出ガス基準を満たしていない場合、認定サービスセンターが必要な是正措置を講じ、独自の裁量で排出ガス制御システムのコンポーネントを無料で修理または交換し、必要な排出ガス基準を満たすことを保証します。

排出ガス保証対象部品の保証条件を判断するための検査方法は、Royal Enfield および / または当社認定サービスセンターの独自の裁量により決定され、当該検査の結果は最終的かつ拘束力を持つものとなります。検査の結果、部品の保証条件が確立されていない場合、Royal Enfield は部品の費用に加えて、検査費用の全部または一部をお客様に請求する権利を有します。

コンポーネントが排出ガス保証の対象であると認められた場合、Royal Enfield は必要に応じてコンポーネントを無料で交換します。ただし、燃料、潤滑油、溶剤などの消耗品については、実際の金額に応じてお客様に請求されます。

排出ガス保証

排出ガス保証の対象となるコンポーネントまたは関連部品のいずれかが個別に交換できない場合。Royal Enfield は、適切な修理を通してアセンブリ全体またはアセンブリの一部を交換する独自の裁量を有します。

Royal Enfield は、排出基準を遵守するために、排出ガス保証の対象となるコンポーネントを修理または交換するのに加えて、車両に必要な付随的修理を実施したり、部品を交換する権利を留保します。こうした修理 / 交換はお客様に費用負担を請求することができます。

保証に基づいて交換するために取り外されたすべての部品は、Royal Enfield の所有物となります。

Royal Enfield は、最寄りの認定サービスセンターまでの車両の輸送費用、または Royal Enfield および / または認定サービスセンターによる検査および修理期間中に車両が利用できないことによる損失については責任を負いません。

Royal Enfield は、使用中の排出基準を遵守できなかったために法定当局から課せられうる罰金については一切責任を負いません。

車両の排出ガス検査にかかる費用はお客様のご負担となります。

排出ガス保証は、車両の所有権の変更に関係なく、車両の初度登録日から本書に規定されているすべての条件が満たされている限り適用されます。

排出ガス保証

以下の場合、本保証が適用されます

- 取扱説明書に記載されているすべての重要な指示とその他の注意事項を遵守している。
- いかなる状況でも、Royal Enfield が推奨する潤滑油と燃料を使用している。
- Royal Enfield のガイドラインに従って定期的にメンテナンスを実施し、その詳細を記録簿に記入している。
- 取扱説明書の指示に従って車両を整備、使用し、排出ガス基準に適合するために必要な修理や調整を行ったにもかかわらず、排出ガス基準に適合していないことが判明した場合に、直ちに最寄りの RE 正規販売店 / サービスセンターに連絡している。
- 排出ガス保証を請求するのに、有効な汚染制御証明書の提示している。
- 検証の詳細を記載した取扱説明書と記録簿を作成している。
- 車両の購入日から取扱説明書に記載されている車両のメンテナンス費用を記載している領収書を発行している。
- 有効な保険証明書および自動車検査証（車検証）を発行している。

排出ガス保証

以下の場合には、本保証は適用されません

- 有効な「排出ガス規制適合証明書」が発行されていない。
- メンテナンスチャートに記載されている整備スケジュールに従ってRE正規販売店 / サービスセンターによって車両が整備されていない。
- 車両が異常な使用、乱用、放置されていた、不適切なメンテナンスを受けた、もしくは事故に遭った。
- Royal Enfieldが指定・承認していない交換部品が使用されている。
- 車両またはその部品が、承認されていない方法で改造、改ざん、変更、または交換されている。
- オドメーターが機能していないか、オドメーターおよび / またはその表示が変更または改ざんされていて、実際の走行距離を簡単に判定できない。
- 車両が、競技、レース、ラリー、あるいは記録樹立の目的で使用されていた。
- Royal Enfieldまたはその正規販売店 / サービスセンターによる検査で、車両の使用およびメンテナンスに関する取扱説明書に規定されている条件のいずれかに違反していることが判明した場合。
- 取扱説明書または車両の販売時にお客様に提供されたその他の文書でRoyal Enfieldによって指定されたもの以外の、不純物が混入した / 鉛が入った燃料または潤滑油を使用して車両を走行させた場合。

排出ガス保証

- 排出ガス関連部品が改ざんされている。
- 排出ガス保証期間中に発生したすべての整備および部品関連の請求書と伝票が発行されていない。
- 排出ガス保証期間中に車両に対して行われたメンテナンス作業が記録簿に記録されていない。

法律を守るためのヒント

- 必ず正規の排出ガス検査機関で、車両が排出ガス規制に適合しているか点検を受けてください。
- 法律で定められている場合、有効な「排出ガス規制適合証明書」を常に携行してください。

汚染を減らすためのヒント

- 取扱説明書に記載されているとおり、Royal Enfield 認定サービスセンターを通じて定期メンテナンスが実施されていることを確認してください。
- 信頼できるガソリンスタンドで購入した、無鉛ハイオクガソリン（オクタン価 91 以上）のみを使用してください。
- 使用する燃料が不純物を含んでいないことを確認してください。
- 取扱説明書に推奨されている正しいスパークプラグを使用してください。
- 取扱説明書に記載されているグレード / ブランドの推奨事項に従って潤滑剤を使用してください。

燃料蒸発ガス排出抑止装置の保証

以下の保証は、燃料蒸発ガス排出抑止装置に適用されます。

Royal Enfield Motors は、最初の所有者およびその後の各所有者に対して、この車両が販売時に、燃料蒸発ガス排出抑止装置で指定された適用規制に準拠するように設計および製造されており、この車両に取り付けられている関連部品には、車両の初回使用日から 24 か月間、適用規制を満たさなくなる原因となる材料および製造上の欠陥がないことを保証します。

保証期間は、車両が最初の小売購入者に納品された日、または車両がデモ車、展示用車両および / 試乗車として使用された最初の日から開始されます。

燃料蒸発ガス排出抑止装置の保証の対象外となるもの

1. 取扱説明書に記載されているように、誤用、改造、事故、または定期メンテナンスの不履行の結果として発生する可能性のある故障。

燃料蒸発ガス排出抑止装置の保証

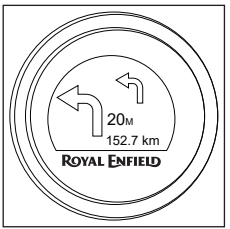
2. 燃料蒸発ガス排出抑止装置（燃料タンク、燃料タンクキャップ、キャニスター、パージバルブ、スロットルボディ、蒸気ホース、燃料ホース、ホースコネクターを含む）の一部を Royal Enfield に認定されていない部品と交換、取り外し、または変更すること。
3. 時間の損失、不便、車両の使用不能、またはその他の結果的な損失や損害。
4. オドメーターが改ざんされているか、スピードメーターケーブルが何らかの理由で切断されているか、壊れた状態で直ちに交換されなかったため、正確な走行距離を確定できない車両。
5. 燃料ホース、蒸気ホース、ガスケット、ゴム部品など、部品における通常の経年劣化。

必要なメンテナンスに関する推奨事項

車両の定期メンテナンスは指定された間隔で実行することをお勧めします。また、燃料蒸発ガス排出抑止装置のメンテナンスは、Royal Enfield 認定サービスセンターで、純正の Royal Enfield スペアパーツのみを使用して実施してください。

無線設備型式認証（装備されている場合）

トリッパー / ナビゲーションディスプレイユニット



整備 / メンテナンス記録

シリアル番号	整備内容	スケジュール	日付	ジョブカード番号	km	販売店コード	整備の概要

配線図

免責事項

配線回路の修理やその他の電気系統の手直しは、Royal Enfield 認定サービスセンターでのみ行うことをお勧めします。これを守らない場合、電気系統に損傷を与えるおそれがあり、製品保証が無効となる場合があります。



注記

注記

注記

注記

注記

注記

ROYAL ENFIELD

ROYALENFIELD.COM

Part No. **RAM01561/A**

Edition: 16th October 2026